令和８年度 青森市民意識調査結果報告書

令和８年１１月

青森市企画部　広報広聴課

◇◆◇ 目　　次 ◇◆◇

Ⅰ　調査の概要

調査の概要 …… 1

調査地域区分表 …… 2

調査票の回収結果 …… 3

回答者の属性 …… 4

Ⅱ　調査結果

１　住みやすさの評価、今後の定住意向（問 2～問 3） …… 7

２　青森市への誇りや愛着、青森市に住んでもらいたいか（問 4～問 5） …… 34

３　市政情報の入手方法（問 6） …… 53

４　令和 8 年度　青森市の主な取組について（問 7～問 13） …… 58

５　市政に対するご意見・ご提案（問 14） …… 62

Ⅲ　調査票

令和 8 年度青森市民意識調査へのご協力のお願い …… 65

Ⅰ　調査の概要

調査の概要

1 調査目的

市民の皆様がまちづくりの各分野や生活の各局面などで、どのように考え、どのように行動しているのかを伺い、今後の施策等を検討する上での基礎資料とすることを目的とする。

2 調査内容

(1) 住みやすさの評価、今後の定住意向（問 2～問 3）
(2) 青森市への誇りや愛着、青森市に住んでもらいたいか（問 4～問 5）
(3) 市政情報の入手方法（問 6）
(4) 令和 7 年度　青森市の主な取組について（問 7～13）
(5) 市政に対するご意見・ご提案（問 14）

3 調査方法

(1) 調査対象者
市内に在住する満 16 歳以上の男女 3,000 人（母数 230,386 人）
(2) 抽出方法
性別、年齢層及び居住地区の全体に占める割合に応じて標本数を配分した上で、
区分ごとに住民基本台帳（令和 8 年 4 月 1 日現在）から等間隔無作為抽出
(3) 配票及び回収方法
配票については、郵送
回収については、返信用封筒による郵送または、WEB による回答（無記名、自記式）

4 調査期間

令和 8 年 5 月 8 日（金）～ 5 月 31 日（日）

5 報告書の見方

(1) 比率は全てパーセント(%)で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が 100 にならない場合がある。
(2) 複数回答が可能な設問(問 2－①、問 2－②、問 4－①、問 6)では、比率算出の基数は回答者数(票数) とし、その項目を選んだ人が全体からみて何パーセントなのかという見方としているため、各項目の比率を合計しても 100 とはならない。
(3) 図表及び文章中で、選択肢の語句等を、趣旨が変わらない程度に一部簡略化している場合がある。

調査地域区分表

地区番号	地区名	地区の範囲
1	東地区	岡造道、合浦、桑原（稲葉）、けやき、小柳、栄町、桜川、 自由ヶ丘、田屋敷、茶屋町、佃、造道、筒井、中佃、浪打、 虹ヶ丘、花園、浜館、はまなす、東造道、古館、松森、港町、 南佃、本泉、八重田、矢作、矢田前
2	中央地区	青柳、奥野、勝田、新町、中央、堤町、長島、橋本、古川、 本町、松原、安方
3	南地区	青葉、旭町、浦町、大野、卸町、桂木、金沢、北金沢、久須志、 千富町、第二問屋町、問屋町、浪館、浪館前田、西大野、浜田、 東大野、緑、妙見、安田、八ツ役（矢作）
4	西地区	油川、石江、岡町、沖館、里見、三内、篠田、千刈、富田、 西滝、新田、羽白、三好、柳川
5	東部地区Ａ	浅虫、泉野、後萢、久栗坂、三本木、平新田、滝沢、野内、 原別、馬屋尻、宮田、矢田、八幡林
6	東部地区Ｂ	赤坂、桑原（山崎）、駒込、沢山、諏訪沢、月見野、築木館、 戸崎、戸山、蛍沢
7	南東部地区	牛館、大矢沢、幸畑、合子沢、新町野、田茂木野、野尻、雲谷、 横内、四ツ石
8	西部地区	岩渡、新城、鶴ヶ坂、戸門、孫内
9	南部地区	荒川、上野、大谷、大別内、金浜、小館、高田、入内、野木、 野沢、細越、八ツ役（芦谷、上林）
10	北部地区	飛鳥、後潟、内真部、奥内、小橋、四戸橋、清水、瀬戸子、 西田沢、左堰、前田、六枚橋
11	浪岡地区	相沢、王余魚沢、北中野、吉内、郷山前、五本松、下石川、 下十川、銀、杉沢、高屋敷、樽沢、大釈迦、徳才子、長沼、 浪岡、福田、細野、本郷、増館、女鹿沢、吉野田

調査票の回収結果

・年齢別

年齢層	標本数			有効回収数	回収率	性別構成		
	男	女	合計			男	女	無回答
16 ～ 19 歳	59	58	117	44	37.6%	20	24	0
20 ～ 29 歳	128	117	245	76	31.0%	35	41	0
30 ～ 39 歳	149	149	298	123	41.3%	52	71	0
40 ～ 49 歳	215	219	434	183	42.2%	93	90	0
50 ～ 59 歳	250	262	512	221	43.2%	94	126	1
60 ～ 69 歳	235	259	494	263	53.2%	110	145	8
70 歳 以 上	351	549	900	489	54.3%	186	252	51
不 明	―	―	―	9	―	1	1	7
合計	1,387	1,613	3,000	1,408	46.9%	591	750	67

・地区別

地区名	標本数			有効回収数	回収率	性別構成		
	男	女	合計			男	女	無回答
東 地 区	336	392	728	371	51.0%	155	197	19
中 央 地 区	118	138	256	122	47.7%	54	67	1
南 地 区	314	367	681	311	45.7%	131	168	12
西 地 区	271	316	587	264	45.0%	113	140	11
東 部 地 区 Ａ	46	54	100	47	47.0%	21	25	1
東 部 地 区 Ｂ	40	45	85	40	47.1%	15	22	3
南 東 部 地 区	55	65	120	57	47.5%	23	31	3
西 部 地 区	64	74	138	66	47.8%	30	34	2
南 部 地 区	28	31	59	7	11.9%	3	4	0
北 部 地 区	27	31	58	25	43.1%	8	15	2
浪 岡 地 区	88	100	188	81	43.1%	34	43	4
不 明	―	―	―	17	―	4	4	9
合計	1,387	1,613	3,000	1,408	46.9%	591	750	67

回答者の属性

①性別

	回答数	構成比
男性	591	42.0%
女性	750	53.3%
無回答	67	4.8%
全体	1,408	100%

②年齢別

	回答数	構成比
16～19歳	44	3.1%
20～29歳	76	5.4%
30～39歳	123	8.7%
40～49歳	183	13.0%
50～59歳	221	15.7%
60～69歳	263	18.7%
70歳以上	489	34.7%
無回答	9	0.6%
全体	1,408	100%

③職業別

	回答数	構成比
農・林・漁業	12	0.9%
給与所得者	461	32.7%
自営業	67	4.8%
パート・アルバイトなど	167	11.9%
主婦・主夫	175	12.4%
学生	52	3.7%
無職	401	28.5%
その他	56	4.0%
無回答	17	1.2%
全体	1,408	100%

④居住年数別(旧青森市、旧浪岡町当時も含む)

	回答数	構成比
5年以内	83	5.9%
6～9年	47	3.3%
10～19年	129	9.2%
20～29年	142	10.1%
30～39年	186	13.2%
40年以上	810	57.5%
無回答	11	0.8%
全体	1,408	100%

⑤居住形態別

	回答数	構成比
持ち家	1,041	73.9%
民間の借家・アパート	243	17.3%
公営住宅	21	1.5%
給与住宅(社宅、公舎)	1	0.1%
間借、同居、寮など	76	5.4%
無回答	26	1.8%
全体	1,408	100%

⑥居住地区別

	回答数	構成比
東地区	371	26.3%
中央地区	122	8.7%
南地区	311	22.1%
西地区	264	18.8%
東部地区A	47	3.3%
東部地区B	40	2.8%
南東部地区	57	4.0%
西部地区	66	4.7%
南部地区	7	0.5%
北部地区	25	1.8%
浪岡地区	81	5.8%
無回答	17	1.2%
全体	1,408	100%

回答者の属性（一覧）

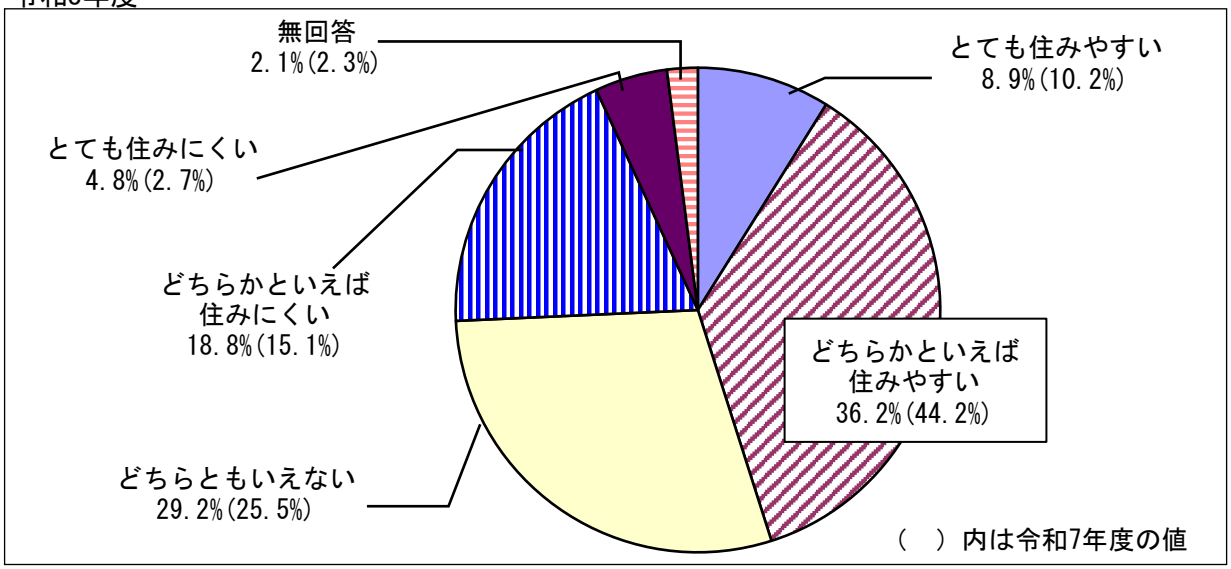
		総計		男性		女性		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		1,408	100%	591	100%	750	100%	67	100%
年齢	16～19歳	44	3.1%	20	3.4%	24	3.2%	0	0.0%
	20～29歳	76	5.4%	35	5.9%	41	5.5%	0	0.0%
	30～39歳	123	8.7%	52	8.8%	71	9.5%	0	0.0%
	40～49歳	183	13.0%	93	15.7%	90	12.0%	0	0.0%
	50～59歳	221	15.7%	94	15.9%	126	16.8%	1	1.5%
	60～69歳	263	18.7%	110	18.6%	145	19.3%	8	11.9%
	70歳以上	489	34.7%	186	31.5%	252	33.6%	51	76.1%
	無回答	9	0.6%	1	0.2%	1	0.1%	7	10.4%
職業	農・林・漁業	12	0.9%	8	1.4%	4	0.5%	0	0.0%
	給与所得者	461	32.7%	250	42.3%	209	27.9%	2	3.0%
	自営業	67	4.8%	43	7.3%	21	2.8%	3	4.5%
	パート・アルバイトなど	167	11.9%	32	5.4%	128	17.1%	7	10.4%
	主婦・主夫	175	12.4%	2	0.3%	159	21.2%	14	20.9%
	学生	52	3.7%	24	4.1%	28	3.7%	0	0.0%
	無職	401	28.5%	203	34.3%	170	22.7%	28	41.8%
	その他	56	4.0%	28	4.7%	24	3.2%	4	6.0%
	無回答	17	1.2%	1	0.2%	7	0.9%	9	13.4%
居住年数	5年以内	83	5.9%	47	8.0%	34	4.5%	2	3.0%
	6～9年	47	3.3%	20	3.4%	26	3.5%	1	1.5%
	10～19年	129	9.2%	60	10.2%	68	9.1%	1	1.5%
	20～29年	142	10.1%	61	10.3%	80	10.7%	1	1.5%
	30～39年	186	13.2%	72	12.2%	108	14.4%	6	9.0%
	40年以上	810	57.5%	330	55.8%	431	57.5%	49	73.1%
	無回答	11	0.8%	1	0.2%	3	0.4%	7	10.4%
居住形態	持ち家	1,041	73.9%	428	72.4%	564	75.2%	49	73.1%
	民間の借家・アパート	243	17.3%	107	18.1%	127	16.9%	9	13.4%
	公営住宅	21	1.5%	6	1.0%	13	1.7%	2	3.0%
	給与住宅（社宅、公舎）	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
	間借、同居、寮など	76	5.4%	38	6.4%	38	5.1%	0	0.0%
	無回答	26	1.8%	11	1.9%	8	1.1%	7	10.4%
居住地区	東地区	371	26.3%	155	26.2%	197	26.3%	19	28.4%
	中央地区	122	8.7%	54	9.1%	67	8.9%	1	1.5%
	南地区	311	22.1%	131	22.2%	168	22.4%	12	17.9%
	西地区	264	18.8%	113	19.1%	140	18.7%	11	16.4%
	東部地区A	47	3.3%	21	3.6%	25	3.3%	1	1.5%
	東部地区B	40	2.8%	15	2.5%	22	2.9%	3	4.5%
	南東部地区	57	4.0%	23	3.9%	31	4.1%	3	4.5%
	西部地区	66	4.7%	30	5.1%	34	4.5%	2	3.0%
	南部地区	7	0.5%	3	0.5%	4	0.5%	0	0.0%
	北部地区	25	1.8%	8	1.4%	15	2.0%	2	3.0%
	浪岡地区	81	5.8%	34	5.8%	43	5.7%	4	6.0%
	無回答	17	1.2%	4	0.7%	4	0.5%	9	13.4%

Ⅱ　調査結果

1　住みやすさの評価、今後の定住意向

【問２】あなたにとって、青森市は住みやすい市ですか。（○は１つ）

【全体】
令和8年度



8.9%の人が「とても住みやすい」と回答しており、これに「どちらかといえば住みやすい」（36.2%）を合わせた“住みやすい”と回答した人の割合は45.1%となっている。
一方、「とても住みにくい」（4.8%）と「どちらかといえば住みにくい」（18.8%）を合わせた“住みにくい”と回答した人の割合は23.6%となっている。

	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
令和6年度						
回答数	154	613	310	155	28	25
構成比	12.0%	47.7%	24.1%	12.1%	2.2%	1.9%
令和7年度						
回答数	134	583	337	199	36	31
構成比	10.2%	44.2%	25.5%	15.1%	2.7%	2.3%
令和8年度						
回答数	125	510	411	265	68	29
構成比	8.9%	36.2%	29.2%	18.8%	4.8%	2.1%

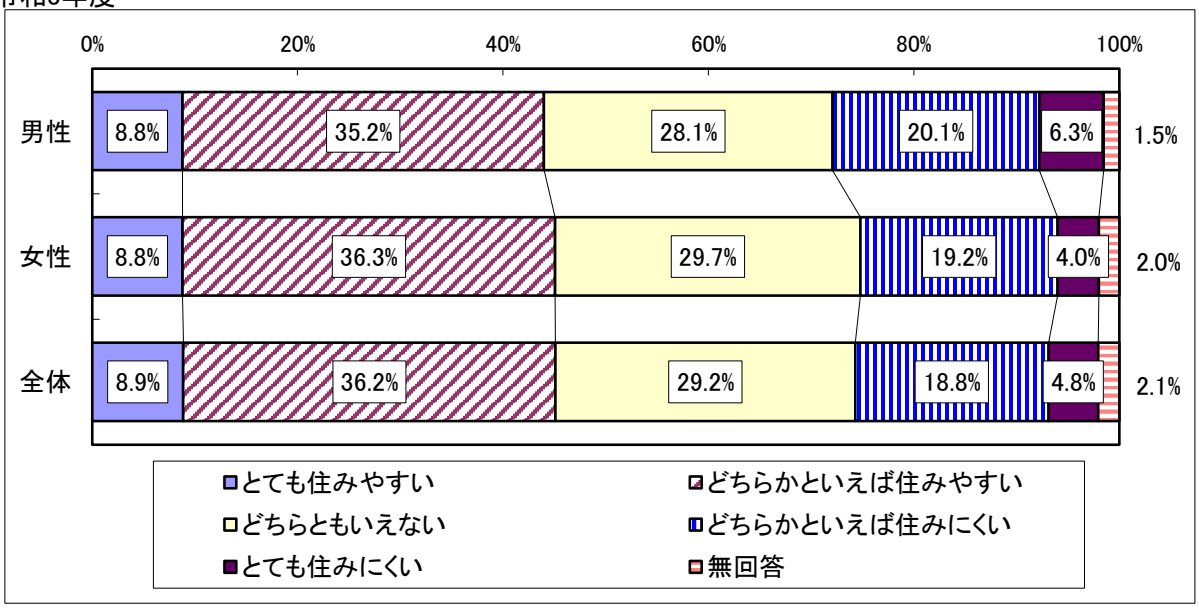
前年度との比較

◆“住みやすい”と回答した人の割合は、前年度(54.4%)より9.3ポイント減少している。

◆“住みにくい”と回答した人の割合は、前年度(17.8%)より5.8ポイント増加している。

【性別】

令和8年度



性別では、「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の回答を合わせた“住みやすい”と回答した人の割合は、男女ともに50%を下回っている。また、“住みやすい”と回答した人の割合は、女性（45.1%）が男性（44.0%）を1.1ポイント上回っている。

	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
令和6年度						
男性	12.0%	45.5%	24.3%	14.1%	2.5%	1.5%
女性	11.5%	49.7%	24.5%	10.6%	2.0%	1.7%
令和7年度						
男性	11.2%	38.7%	28.3%	16.9%	4.0%	0.9%
女性	9.1%	48.6%	23.9%	14.5%	1.5%	2.5%
令和8年度						
男性	8.8%	35.2%	28.1%	20.1%	6.3%	1.5%
女性	8.8%	36.3%	29.7%	19.2%	4.0%	2.0%

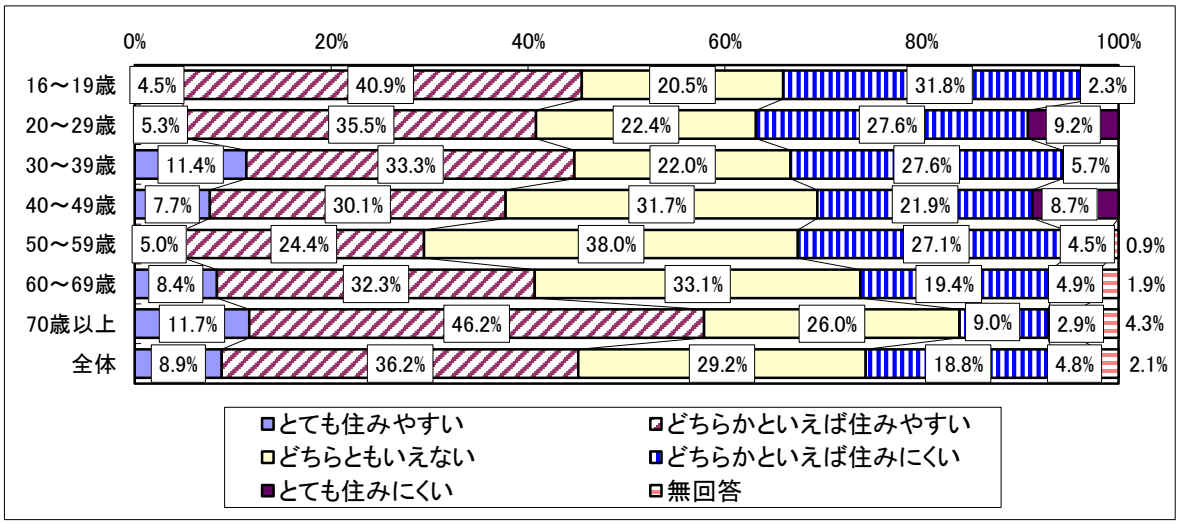
前年度との比較

◆“住みやすい”と回答した人の割合は、男性で前年度（49.9%）より5.9ポイント減少、女性で前年度（57.7%）より12.6ポイント減少している。

◆“住みにくい”と回答した人の割合は、男性で前年度（20.9%）より5.5ポイント増加、女性で前年度（16.0%）より7.2ポイント増加している。

【年齢層別】

令和8年度



年齢層別では、「とても住みやすい」と答えた人の割合は、70歳以上(11.7%)が最も高く、次いで30～39歳(11.4%)となっている。また、“住みやすい”と答えた人の割合は、70歳以上（57.9%）が最も高く、次いで16～19歳(45.4%)となっている。

	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
令和6年度						
16～19歳	12.1%	48.5%	30.3%	9.1%	0.0%	0.0%
20～29歳	17.4%	40.6%	30.4%	8.7%	2.9%	0.0%
30～39歳	12.0%	50.0%	19.4%	16.7%	1.9%	0.0%
40～49歳	11.1%	49.0%	24.8%	10.5%	4.6%	0.0%
50～59歳	11.5%	42.9%	28.6%	13.7%	3.3%	0.0%
60～69歳	9.4%	44.3%	30.0%	12.2%	2.8%	1.4%
70歳以上	13.2%	52.2%	17.5%	11.8%	0.7%	4.8%
令和7年度						
16～19歳	17.9%	35.9%	17.9%	20.5%	7.7%	0.0%
20～29歳	14.5%	42.2%	21.7%	20.5%	1.2%	0.0%
30～39歳	6.6%	40.7%	22.0%	26.4%	4.4%	0.0%
40～49歳	6.7%	42.7%	24.4%	20.1%	6.1%	0.0%
50～59歳	6.7%	35.1%	31.4%	23.7%	3.1%	0.0%
60～69歳	7.3%	42.9%	29.8%	15.3%	1.8%	2.9%
70歳以上	13.8%	51.6%	23.1%	6.0%	1.3%	4.1%
令和8年度						
16～19歳	4.5%	40.9%	20.5%	31.8%	2.3%	0.0%
20～29歳	5.3%	35.5%	22.4%	27.6%	9.2%	0.0%
30～39歳	11.4%	33.3%	22.0%	27.6%	5.7%	0.0%
40～49歳	7.7%	30.1%	31.7%	21.9%	8.7%	0.0%
50～59歳	5.0%	24.4%	38.0%	27.1%	4.5%	0.9%
60～69歳	8.4%	32.3%	33.1%	19.4%	4.9%	1.9%
70歳以上	11.7%	46.2%	26.0%	9.0%	2.9%	4.3%

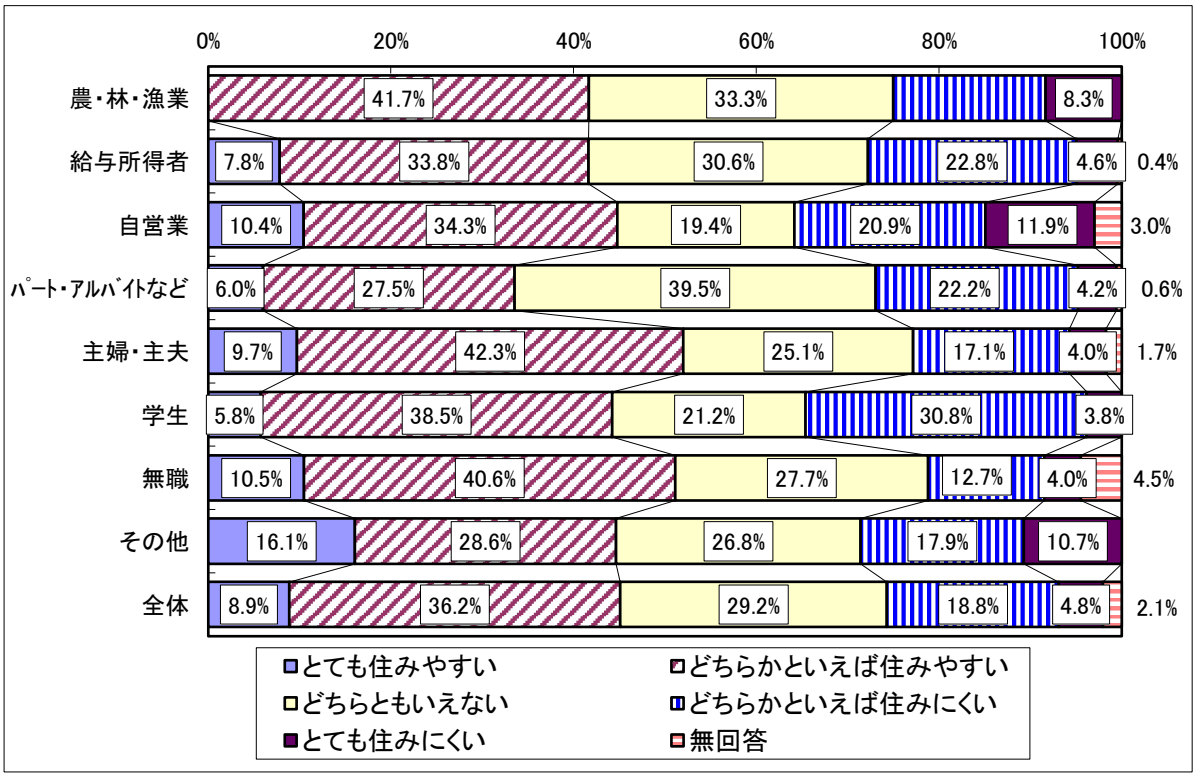
前年度との比較

◆“住みやすい”と回答した人の割合は、各年齢層で減少し、20～29歳の年齢層で前年度（56.7%）より15.9ポイント減少している。

◆“住みにくい”と回答した人の割合は、各年齢層で増加し、20～29歳の年齢層で前年度（21.7%）より15.1ポイント増加している。

【職業別】

令和8年度



職業別では、「とても住みやすい」と回答した人の割合は、自営業（10.4%）が最も高く、次いで無職(10.5%)となっている。また、“住みやすい”と回答した人の割合は、主婦・主夫（52.0%）が最も高く、次いで無職(51.1%)となっている。

	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
令和6年度						
農・林・漁業	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
給与所得者	11.8%	48.4%	23.9%	12.6%	2.4%	0.8%
自営業	12.3%	42.5%	28.8%	15.1%	1.4%	0.0%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	10.5%	42.7%	29.2%	14.6%	1.8%	1.2%
主婦・主夫	15.4%	51.2%	20.4%	9.3%	3.1%	0.6%
学生	12.5%	47.5%	27.5%	12.5%	0.0%	0.0%
無職	9.8%	51.8%	20.9%	11.9%	2.2%	3.5%
その他	24.0%	32.0%	28.0%	12.0%	2.0%	2.0%
令和7年度						
農・林・漁業	20.0%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
給与所得者	7.4%	40.2%	26.3%	22.2%	3.5%	0.5%
自営業	7.0%	45.6%	21.1%	19.3%	5.3%	1.8%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	8.2%	47.5%	29.7%	10.8%	2.5%	1.3%
主婦・主夫	10.0%	50.0%	22.4%	14.1%	1.2%	2.4%
学生	14.8%	37.0%	20.4%	24.1%	3.7%	0.0%
無職	12.8%	48.3%	24.3%	9.2%	1.7%	3.6%
その他	13.6%	33.9%	33.9%	6.8%	5.1%	6.8%

令和8年度	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
農・林・漁業	0.0%	41.7%	33.3%	16.7%	8.3%	0.0%
給与所得者	7.8%	33.8%	30.6%	22.8%	4.6%	0.4%
自営業	10.4%	34.3%	19.4%	20.9%	11.9%	3.0%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	6.0%	27.5%	39.5%	22.2%	4.2%	0.6%
主婦・主夫	9.7%	42.3%	25.1%	17.1%	4.0%	1.7%
学生	5.8%	38.5%	21.2%	30.8%	3.8%	0.0%
無職	10.5%	40.6%	27.7%	12.7%	4.0%	4.5%
その他	16.1%	28.6%	26.8%	17.9%	10.7%	0.0%

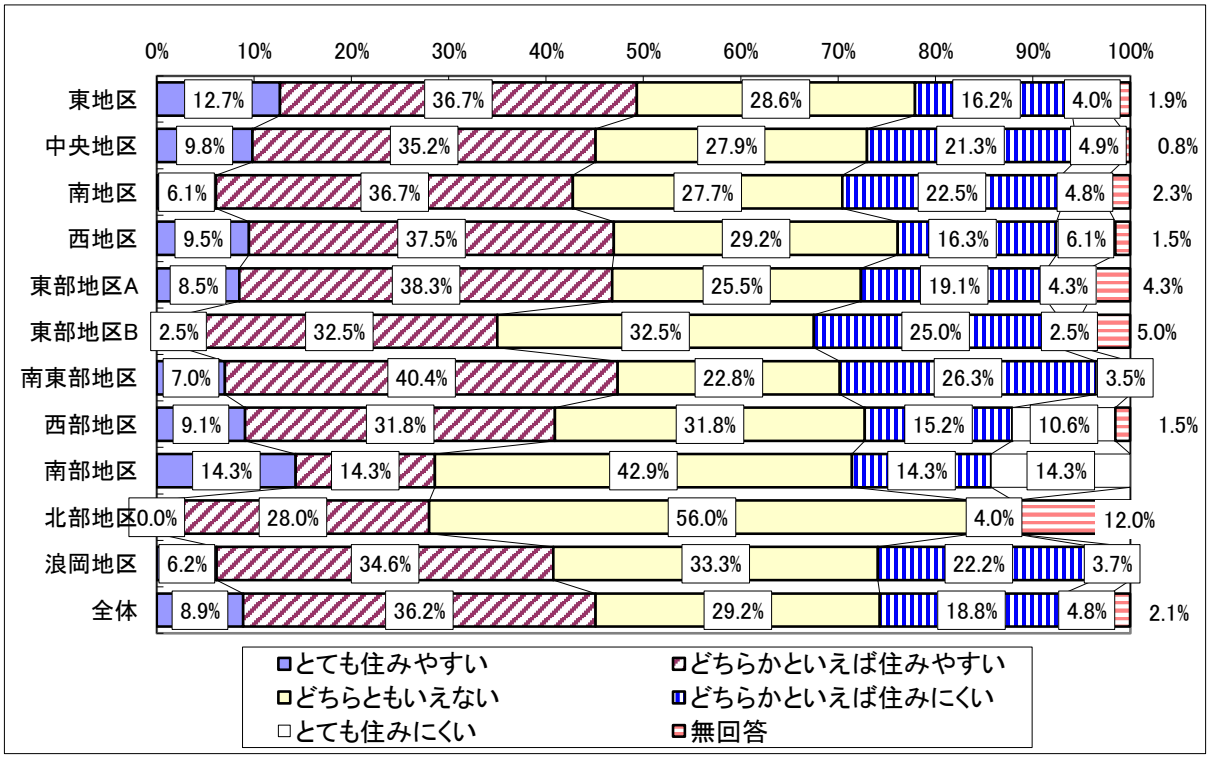
前年度との比較

◆“住みやすい”と回答した人の割合は、パート・アルバイトなどの職業区分で前年度（55.7%）より22.2ポイント、無職の職業区分で前年度（61.1%）より10.0ポイント減少している。

◆“住みにくい”と回答した人の割合は、農・林・漁業などの職業区分で前年度（0.0%）より25.0ポイント、パート・アルバイトなどの職業区分で前年度（13.3%）より13.1ポイント増加している。

【居住地区別】

令和8年度



居住地区別では、「とても住みやすい」と答えた人の割合は、南部地区（14.3%）が最も高く、次いで東地区（12.7%）となっている。また、“住みやすい”と答えた人の割合は、東地区（49.4%）が最も高く、次いで南東部地区（47.4%）となっている。

	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
令和6年度						
東地区	15.3%	50.0%	23.9%	8.8%	1.1%	0.9%
中央地区	7.5%	46.2%	26.4%	12.3%	2.8%	4.7%
南地区	10.8%	47.2%	23.0%	16.4%	1.1%	1.5%
西地区	10.6%	49.4%	21.2%	11.8%	3.3%	3.7%
東部地区A	11.4%	40.9%	29.5%	13.6%	4.5%	0.0%
東部地区B	5.4%	51.4%	21.6%	16.2%	2.7%	2.7%
南東部地区	9.8%	52.9%	29.4%	5.9%	2.0%	0.0%
西部地区	11.9%	44.8%	26.9%	11.9%	4.5%	0.0%
南部地区	4.3%	43.5%	26.1%	26.1%	0.0%	0.0%
北部地区	15.0%	30.0%	20.0%	25.0%	5.0%	5.0%
浪岡地区	14.0%	45.6%	29.8%	7.0%	3.5%	0.0%
令和7年度						
東地区	8.1%	48.3%	23.3%	14.8%	3.2%	2.3%
中央地区	13.8%	46.8%	22.0%	12.8%	1.8%	2.8%
南地区	11.1%	43.6%	25.8%	15.7%	1.7%	2.1%
西地区	11.7%	45.9%	19.5%	18.0%	3.8%	1.1%
東部地区A	17.6%	29.4%	32.4%	17.6%	2.9%	0.0%
東部地区B	7.1%	40.5%	35.7%	11.9%	2.4%	2.4%
南東部地区	5.7%	52.8%	24.5%	13.2%	1.9%	1.9%
西部地区	7.9%	36.5%	33.3%	12.7%	4.8%	4.8%
南部地区	9.1%	36.4%	40.9%	13.6%	0.0%	0.0%
北部地区	10.5%	21.1%	63.2%	5.3%	0.0%	0.0%
浪岡地区	7.7%	41.5%	32.3%	15.4%	3.1%	0.0%

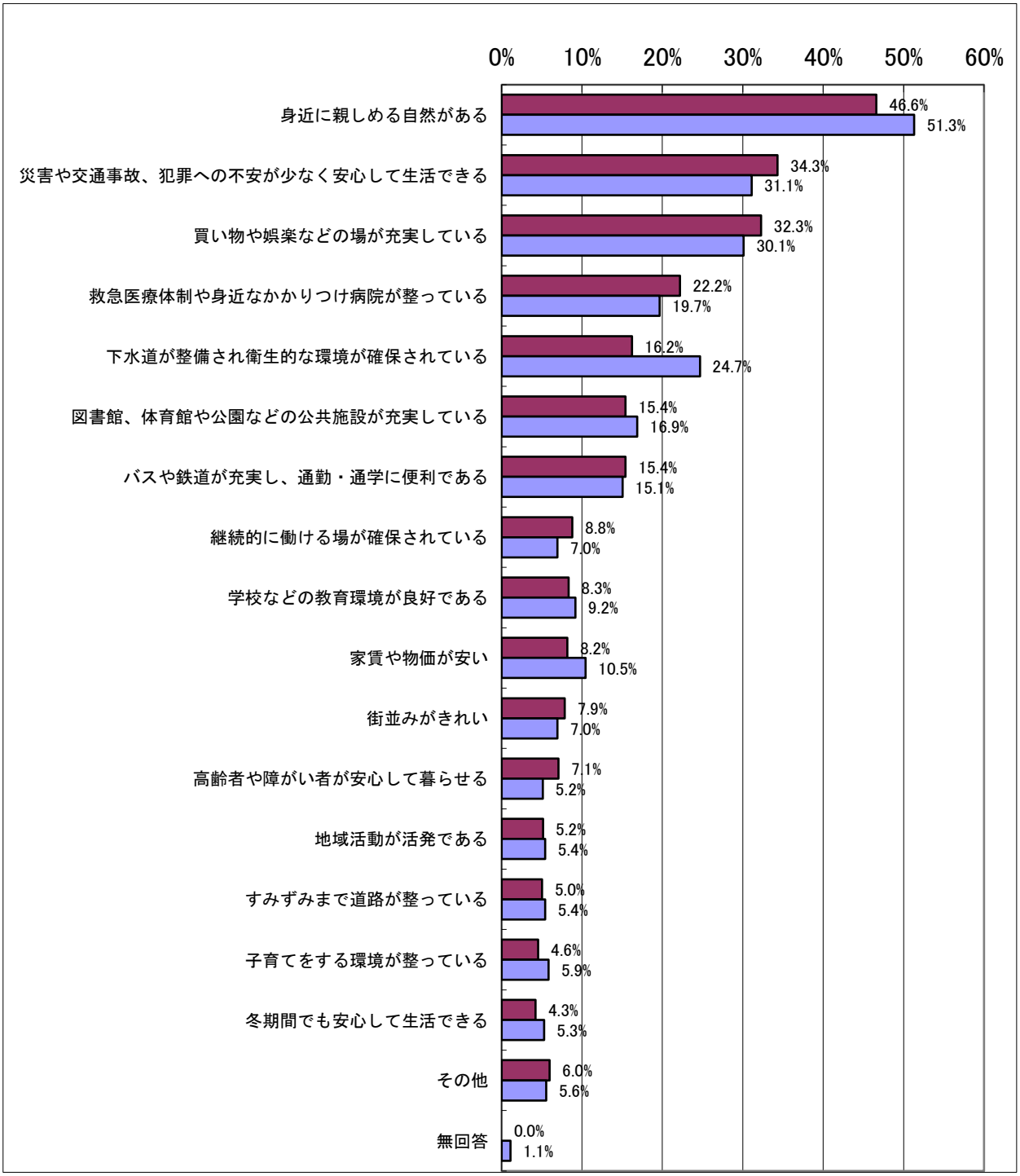
令和8年度	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
東地区	12.7%	36.7%	28.6%	16.2%	4.0%	1.9%
中央地区	9.8%	35.2%	27.9%	21.3%	4.9%	0.8%
南地区	6.1%	36.7%	27.7%	22.5%	4.8%	2.3%
西地区	9.5%	37.5%	29.2%	16.3%	6.1%	1.5%
東部地区A	8.5%	38.3%	25.5%	19.1%	4.3%	4.3%
東部地区B	2.5%	32.5%	32.5%	25.0%	2.5%	5.0%
南東部地区	7.0%	40.4%	22.8%	26.3%	3.5%	0.0%
西部地区	9.1%	31.8%	31.8%	15.2%	10.6%	1.5%
南部地区	14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%
北部地区	0.0%	28.0%	56.0%	4.0%	0.0%	12.0%
浪岡地区	6.2%	34.6%	33.3%	22.2%	3.7%	0.0%

前年度との比較

◆“住みやすい”と回答した人の割合は、11地区中、すべての地区で減少している。
◆“住みにくい”と回答した人の割合は、11地区中、北部地区以外の10地区で増加している。

【問２－①】どのような点で住みやすいか**３つまで選び**○をつけてください。

【全体】　＜上段：令和8年度、下段：令和7年度＞



問2で「とても住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と回答した人に対する、どのような点で住みやすいかという設問において、最も割合が高いのは「身近に親しめる自然がある」(46.6%)であった。以下、「災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる」(34.3%)、「買い物や娯楽などの場が充実している」(32.3%)、「救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている」(22.2%)、「下水道が整備され衛生的な環境が確保されている」(16.2%)と続いている。

【性別】

(%)

No.	項　　目	男性	女性
1	地域活動が活発である	5.4	5.3
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が充実している	⑤ 16.9	14.8
3	継続的に働ける場が確保されている	5.8	11.5
4	買い物や娯楽などの場が充実している	② 35.8	③ 30.8
5	すみずみまで道路が整っている	5.0	4.7
6	バスや鉄道が充実し、通勤・通学に便利である	13.8	⑤ 16.6
7	下水道が整備され衛生的な環境が確保されている	13.1	⑤ 16.6
8	子育てをする環境が整っている	3.8	5.3
9	学校などの教育環境が良好である	8.8	7.4
10	身近に親しめる自然がある	① 47.3	① 45.6
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせる	8.1	6.2
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている	④ 22.3	④ 20.7
13	冬期間でも安心して生活できる	3.8	4.4
14	街並みがきれい	7.7	8.3
15	災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる	③ 31.5	② 36.4
16	家賃や物価が安い	12.3	5.6
17	その他	4.2	7.7

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

男女ともに最も割合が高いのは「身近に親しめる自然がある」で、次いで男性では「買い物や娯楽などの場が充実している」、女性では「災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる」の割合が高くなっている。

【年齢層別】

(%)

No.	項　　目	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	地域活動が活発である	5.0	9.7	⑤ 14.5	2.9	3.1	2.8	4.9
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が充実している	③ 25.0	9.7	⑤ 14.5	⑤ 18.8	④ 18.5	⑤ 15.0	14.1
3	継続的に働ける場が確保されている	5.0	③ 32.3	④ 20.0	④ 20.3	10.8	4.7	2.5
4	買い物や娯楽などの場が充実している	② 35.0	① 45.2	② 32.7	② 29.0	③ 27.7	③ 38.3	④ 30.4
5	すみずみまで道路が整っている	0.0	0.0	5.5	2.9	3. 1	1.9	8.1
6	バスや鉄道が充実し、通勤・通学に便利である	⑤ 15.0	⑤ 16.1	5.5	15.9	⑤ 12.3	14.0	18.4
7	下水道が整備され衛生的な環境が確保されている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⑤ 15.0	④ 30.4
8	子育てをする環境が整っている	0.0	0.0	⑤ 14.5	10.1	6.2	1.9	2.8
9	学校などの教育環境が良好である	10.0	6.5	12.7	10.1	6.2	3.7	9.2
10	身近に親しめる自然がある	① 60.0	① 45.2	① 45.5	① 43.5	① 50.8	① 55.1	① 42.8
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせる	5.0	3.2	1.8	4.3	3.1	3.7	11.3
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている	5.0	12.9	3.6	11.6	9.2	④ 22.4	③ 33.6
13	冬期間でも安心して生活できる	5.0	3.2	1.8	4.3	1.5	3.7	5.7
14	街並みがきれい	③ 25.0	⑤ 16.1	9.1	10.1	7.7	6.5	5.7
15	災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる	⑤ 15.0	⑤ 16.1	③ 25.5	③ 23.2	② 33.8	② 39.3	② 40.3
16	家賃や物価が安い	⑤ 15.0	④ 19.4	12.7	13.0	9.2	7.5	4.2
17	その他	10.0	3.2	12.7	8.7	10.8	7.5	2.5

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

全ての年齢層において「身近に親しめる自然がある」の割合が最も高くなっている。
「買い物や娯楽などの場が充実している」「災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる」が全ての年齢層において、上位5項目に入っている。

【職業別】

(%)

No.	項　　目	農・林・漁業	給与所得者	自営業	パート・アルバイトなど	主婦・主夫	学生	無職	その他
1	地域活動が活発である	0.0	6.3	3.3	5.4	2.2	4.3	5.9	8.0
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が充実している	0.0	⑤ 16.1	10.0	8.9	23.1	④ 21.7	13.7	16.0
3	継続的に働ける場が確保されている	0.0	④ 17.7	6.7	⑤ 17.9	2.2	8.7	1.5	8.0
4	買い物や娯楽などの場が充実している	④ 20.0	② 32.3	② 36.7	② 35.7	③ 31.9	② 30.4	④ 31.7	① 32.0
5	すみずみまで道路が整っている	0.0	2.1	3.3	7.1	7.7	0.0	6.8	8.0
6	バスや鉄道が充実し、通勤・通学に便利である	0.0	11.5	13.3	8.9	14.3	17.4	21.5	16.0
7	下水道が整備され衛生的な環境が確保されている	② 40.0	2.6	10.0	3.6	④ 27.5	0.0	⑤ 29.3	12.0
8	子育てをする環境が整っている	0.0	8.3	0.0	5.4	5.5	0.0	2.4	0.0
9	学校などの教育環境が良好である	④ 20.0	10.4	3.3	5.4	4.4	8.7	7.8	④ 20.0
10	身近に親しめる自然がある	① 80.0	① 50.0	① 43.3	① 51.8	① 48.4	① 52.2	① 42.0	① 32.0
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせる	0.0	1.6	6.7	3.6	6.6	4.3	12.2	12.0
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている	④ 20.0	9.4	④ 33.3	④ 19.6	⑤ 25.3	8.7	③ 34.1	④ 20.0
13	冬期間でも安心して生活できる	0.0	3.1	0.0	7.1	5.5	8.7	4.4	4.0
14	街並みがきれい	0.0	8.3	13.3	10.7	4.4	④ 21.7	6.3	8.0
15	災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる	② 40.0	③ 28.6	② 36.7	③ 32.1	① 48.4	③ 26.1	② 34.6	③ 28.0
16	家賃や物価が安い	0.0	13.0	⑤ 20.0	7.1	3.3	17.4	3.9	4.0
17	その他	0.0	8.9	6.7	12.5	3.3	8.7	2.4	4.0

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

全ての職業区分において「身近に親しめる自然がある」の割合が最も高くなっている。
「買い物や娯楽などの場が充実している」「災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる」が、全ての職業区分において、上位5項目に入っている。

【居住地区別】

(%)

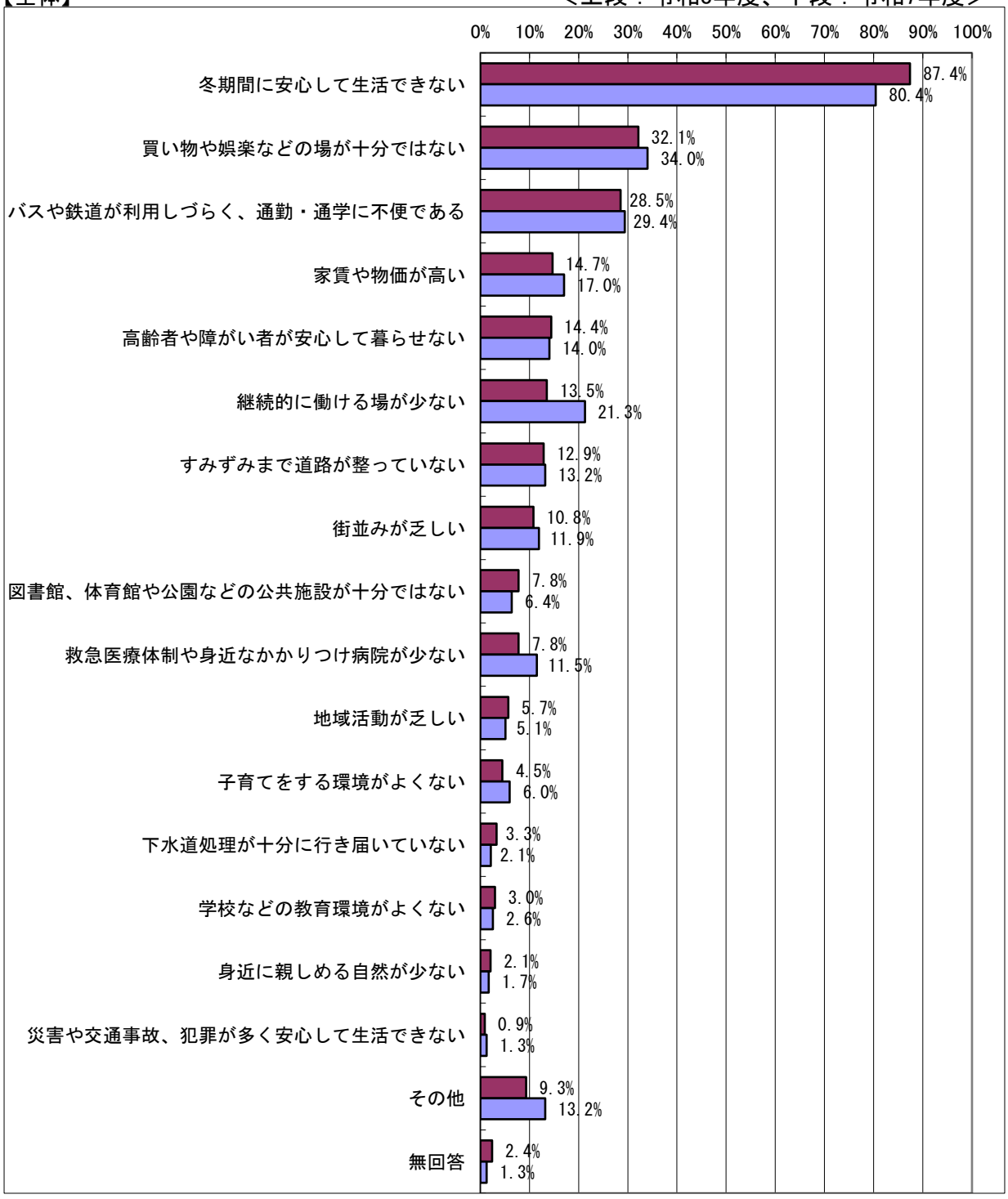
No.	項　　目	東	中央	南	西	東部A	東部B	南東部	西部	南部	北部	浪岡
1	地域活動が活発である	3.8	3.6	3.0	4.8	④ 13.6	14.3	7.4	7.4	0.0	③ 14.3	9.1
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が充実している	9.3	20.0	④ 26.3	12.1	0.0	14.3	⑤ 14.8	⑤ 18.5	① 50.0	0.0	6.1
3	継続的に働ける場が確保されている	9.3	5.5	10.5	8.9	9.1	14.3	3.7	3.7	0.0	③ 14.3	9.1
4	買い物や娯楽などの場が充実している	③ 32.8	② 36.4	② 36.8	③ 35.5	④ 13.6	7.1	⑤ 14.8	② 37.0	0.0	0.0	③ 39.4
5	すみずみまで道路が整っている	4.9	9.1	3.8	4.8	9.1	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	9.1
6	バスや鉄道が充実し、通勤・通学に便利である	14.8	③ 27.3	11.3	17.7	9.1	14.3	11.1	④ 25.9	0.0	0.0	⑤ 12.1
7	下水道が整備され衛生的な環境が確保されている	⑤ 19.7	10.9	14.3	⑤ 18.5	③ 18.2	② 35.7	③ 22.2	0.0	① 50.0	0.0	6.1
8	子育てをする環境が整っている	4.9	5.5	7.5	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	① 50.0	0.0	3.0
9	学校などの教育環境が良好である	8.2	7.3	9.8	5.6	9.1	0.0	⑤ 14.8	7.4	① 50.0	③ 14.3	⑤ 12.1
10	身近に親しめる自然がある	① 47.0	① 45.5	① 39.8	① 43.5	① 59.1	① 57.1	① 59.3	① 44.4	① 50.0	① 57.1	① 54.5
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせる	10.4	0.0	6.8	5.6	④ 13.6	0.0	0.0	7.4	0.0	③ 14.3	9.1
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている	④ 24.0	⑤ 23.6	⑤ 22.6	④ 26.6	④ 13.6	14.3	④ 18.5	⑤ 18.5	0.0	0.0	④ 15.2
13	冬期間でも安心して生活できる	4.9	7.3	3.0	4.8	4.5	7.1	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0
14	街並みがきれい	10.9	12.7	6.0	3.2	④ 13.6	③ 28.6	3.7	11.1	0.0	0.0	0.0
15	災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる	② 33.3	③ 27.3	③ 27.8	② 37.1	② 31.8	③ 28.6	② 51.9	② 37.0	① 50.0	① 57.1	② 45.5
16	家賃や物価が安い	8.7	7.3	4.5	9.7	9.1	⑤ 21.4	11.1	0.0	0.0	③ 14.3	⑤ 12.1
17	その他	8.7	5.5	3.8	4.8	0.0	7.1	11.1	11.1	0.0	0.0	3.0

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

全ての地区において、「身近に親しめる自然がある」の割合が最も高くなっている。
「災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる」が全ての地区において、上位5項目に入っている。

【問２－②】どのような点で住みにくいか**<u>３つまで選び</u>**○をつけてください。

【全体】　＜上段：令和8年度、下段：令和7年度＞



問2で「とても住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」と回答した人に対する、どのような点で住みにくいかという設問において、最も割合が高いのは「冬期間に安心して生活できない」(87.4%)であった。以下、「買い物や娯楽などの場が十分ではない」(32.1%)、「バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である」(28.5%)、「家賃や物価が高い」(14.7%)、「高齢者や障がい者が安心して暮らせない」(14.4%)と続いている。

【性別】

(%)

No.	項　　目	男性	女性
1	地域活動が乏しい	8.3	3.4
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が十分ではない	7.1	8.6
3	継続的に働ける場が少ない	12.8	⑤ 13.8
4	買い物や娯楽などの場が十分ではない	② 28.8	③ 35.6
5	すみずみまで道路が整っていない	12.8	13.2
6	バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である	③ 16.7	② 38.5
7	下水処理が十分に行き届いていない	3.2	3.4
8	子育てをする環境がよくない	3.8	5.2
9	学校などの教育環境がよくない	2.6	3.4
10	身近に親しめる自然が少ない	1.9	2.3
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせない	12.8	④ 15.5
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が少ない	5.8	9.8
13	冬期間に安心して生活できない	① 90.4	① 84.5
14	街並みが乏しい	⑤ 14.7	7.5
15	災害や交通事故、犯罪が多く安心して生活できない	1.3	0.0
16	家賃や物価が高い	③ 16.7	13.2
17	その他	10.9	7.5

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

男女とも「冬期間に安心して生活できない」「買い物や娯楽などの場が充実していない」「バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である」の項目が共通して割合が高くなっている。

【年齢層別】

(%)

No.	項　　目	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	地域活動が乏しい	0.0	0.0	12.2	1.8	5.7	7.8	5.2
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が十分ではない	④ 20.0	0.0	12.2	8.9	5.7	9.4	5.2
3	継続的に働ける場が少ない	6.7	7.1	12.2	⑤ 14.3	15.7	⑤ 21.9	6.9
4	買い物や娯楽などの場が十分ではない	② 60.0	② 32.1	② 48.8	② 37.5	③ 25.7	② 32.8	④ 15.5
5	すみずみまで道路が整っていない	④ 20.0	③ 28.6	④ 17.1	10.7	17.1	4.7	6.9
6	バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である	① 73.3	④ 21.4	③ 22.0	③ 30.4	② 28.6	③ 29.7	③ 22.4
7	下水処理が十分に行き届いていない	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0	3.1	⑤ 10.3
8	子育てをする環境がよくない	0.0	3.6	12.2	12.5	2.9	0.0	0.0
9	学校などの教育環境がよくない	6.7	3.6	2.4	5.4	4.3	0.0	1.7
10	身近に親しめる自然が少ない	6.7	3.6	2.4	0.0	0.0	0.0	6.9
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせない	0.0	7.1	2.4	5.4	10.0	③ 29.7	② 27.6
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が少ない	④ 20.0	3.6	4.9	8.9	8.6	7.8	6.9
13	冬期間に安心して生活できない	② 60.0	① 85.7	① 90.2	① 96.4	① 87.1	① 89.1	① 82.8
14	街並みが乏しい	13.3	⑤ 17.9	14.6	8.9	⑤ 18.6	4.7	3.4
15	災害や交通事故、犯罪が多く安心して生活できない	0.0	0.0	0.0	1.8	1.4	0.0	1.7
16	家賃や物価が高い	6.7	⑤ 17.9	④ 17.1	④ 17.9	④ 21.4	7.8	⑤ 10.3
17	その他	6.7	10.7	12.2	12.5	10.0	3.1	⑤ 10.3

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

16～19歳を除く全ての年齢層において、「冬期間に安心して生活できない」の割合が最も高くなっている。16～19歳の年齢層では「バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である」の割合が最も高くなっている。

全ての年齢層において、「買い物や娯楽などの場が十分ではない」「バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である」「冬期間に安心して生活できない」が上位5項目に入っている。

【職業別】

(%)

No.	項　　目	農・林・漁業	給与所得者	自営業	パート・アルバイトなど	主婦・主夫	学生	無職	その他
1	地域活動が乏しい	0.0	4.0	4.5	9.1	2.7	0.0	6.0	③ 25.0
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が十分ではない	0.0	8.7	9.1	2.3	10.8	⑤ 16.7	6.0	6.3
3	継続的に働ける場が少ない	③ 33.3	11.1	③ 18.2	④ 22.7	⑤ 13.5	5.6	⑤ 11.9	12.5
4	買い物や娯楽などの場が十分ではない	① 66.7	② 34.9	③ 18.2	③ 25.0	③ 37.8	② 66.7	④ 20.9	② 37.5
5	すみずみまで道路が整っていない	0.0	⑤ 17.5	0.0	15.9	5.4	④ 22.2	7.5	⑤ 18.8
6	バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である	③ 33.3	③ 19.8	② 22.7	② 31.8	② 40.5	① 72.2	② 26.9	③ 25.0
7	下水処理が十分に行き届いていない	③ 33.3	2.4	4.5	2.3	5.4	0.0	4.5	0.0
8	子育てをする環境がよくない	0.0	7.1	⑤ 13.6	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0
9	学校などの教育環境がよくない	0.0	4.0	4.5	4.5	0.0	5.6	1.5	0.0
10	身近に親しめる自然が少ない	0.0	0.8	0.0	2.3	5.4	5.6	3.0	0.0
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせない	③ 33.3	7.1	9.1	⑤ 20.5	④ 18.9	0.0	② 26.9	12.5
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が少ない	0.0	8.7	4.5	4.5	10.8	⑤ 16.7	7.5	0.0
13	冬期間に安心して生活できない	① 66.7	① 90.5	① 90.9	① 88.6	① 91.9	③ 61.1	① 86.6	① 81.3
14	街並みが乏しい	0.0	15.9	4.5	2.3	8.1	⑤ 16.7	7.5	⑤ 18.8
15	災害や交通事故、犯罪が多く安心して生活できない	0.0	0.0	9.1	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0
16	家賃や物価が高い	③ 33.3	③ 23.8	⑤ 13.6	13.6	2.7	5.6	7.5	12.5
17	その他	0.0	9.5	⑤ 13.6	11.4	⑤ 13.5	5.6	3.0	⑤ 18.8

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

学生を除く全ての職業区分において、「冬期間に安心して生活できない」の割合が最も高くなっている。学生の職業区分では、「バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である」の割合が最も高くなっている。

【居住地区別】

(%)

No.	項　　目	東	中央	南	西	東部A	東部B	南東部	西部	南部	北部	浪岡
1	地域活動が乏しい	4.0	④ 18.8	2.4	5.1	③ 18.2	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	4.8
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が十分ではない	13.3	9.4	3.5	6.8	0.0	9.1	0.0	⑤ 11.8	0.0	0.0	9.5
3	継続的に働ける場が少ない	14.7	12.5	11.8	⑤ 16.9	9.1	② 36.4	⑤ 17.6	5.9	0.0	0.0	0.0
4	買い物や娯楽などの場が十分ではない	③ 22.7	② 37.5	② 32.9	② 33.9	② 36.4	④ 18.2	② 47.1	③ 23.5	0.0	0.0	② 57.1
5	すみずみまで道路が整っていない	13.3	0.0	④ 16.5	④ 20.3	9.1	9.1	11.8	5.9	① 50.0	0.0	4.8
6	バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である	② 26.7	③ 25.0	③ 28.2	③ 28.8	③ 18.2	④ 18.2	② 47.1	② 47.1	0.0	① 100.0	④ 23.8
7	下水処理が十分に行き届いていない	2.7	0.0	2.4	3.4	0.0	0.0	0.0	⑤ 11.8	0.0	0.0	9.5
8	子育てをする環境がよくない	4.0	0.0	3.5	10.2	9.1	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	4.8
9	学校などの教育環境がよくない	2.7	0.0	1.2	8.5	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10	身近に親しめる自然が少ない	2.7	0.0	2.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせない	⑤ 18.7	6.3	12.9	11.9	③ 18.2	② 36.4	④ 23.5	⑤ 11.8	① 50.0	0.0	4.8
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が少ない	5.3	3.1	9.4	3.4	③ 18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	③ 33.3
13	冬期間に安心して生活できない	① 92.0	① 90.6	① 90.6	① 78.0	① 90.9	① 100.0	① 88.2	① 70.6	① 50.0	① 100.0	① 85.7
14	街並みが乏しい	9.3	④ 18.8	10.6	10.2	9.1	9.1	5.9	⑤ 11.8	0.0	0.0	⑤ 14.3
15	災害や交通事故、犯罪が多く安心して生活できない	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
16	家賃や物価が高い	③ 22.7	15.6	④ 16.5	13.6	③ 18.2	9.1	5.9	0.0	0.0	0.0	4.8
17	その他	13.3	6.3	7.1	11.9	0.0	9.1	11.8	④ 17.6	0.0	0.0	0.0

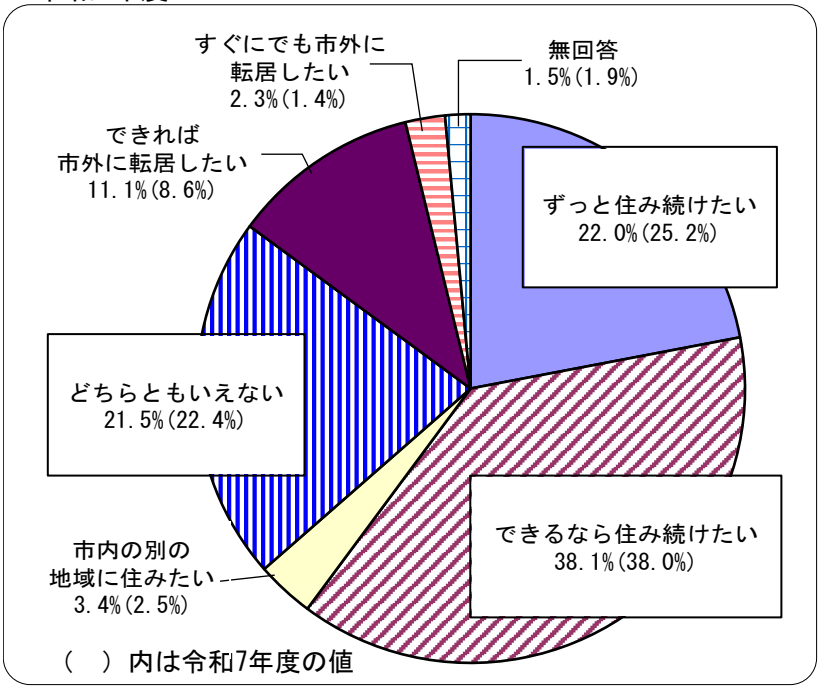
※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

全ての地区において「冬期間に安心して生活できない」の割合が最も高くなっている。
南部地区を除く全ての地区において「バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である」が上位5項目に入っている。

【問３】あなたは、今後も青森市に住みたいと思いますか。（○は１つ）

【全体】

令和8年度



22.0%の人が「ずっと住み続けたい」と回答しており、これに「できるなら住み続けたい」の38.1%と「市内の別の地域に住みたい」の3.4%を加えた、“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合は、63.5%となっている。

	ずっと住み続けたい	できるなら住み続けたい	市内の別の地域に住みたい	どちらともいえない	できれば市外に転居したい	すぐにでも市外に転居したい	無回答
令和6年度							
回答数	366	500	38	237	113	20	11
構成比	28.5%	38.9%	3.0%	18.4%	8.8%	1.6%	0.9%
令和7年度							
回答数	332	501	33	296	114	19	25
構成比	25.2%	38.0%	2.5%	22.4%	8.6%	1.4%	1.9%
令和8年度							
回答数	310	537	48	303	156	33	21
構成比	22.0%	38.1%	3.4%	21.5%	11.1%	2.3%	1.5%

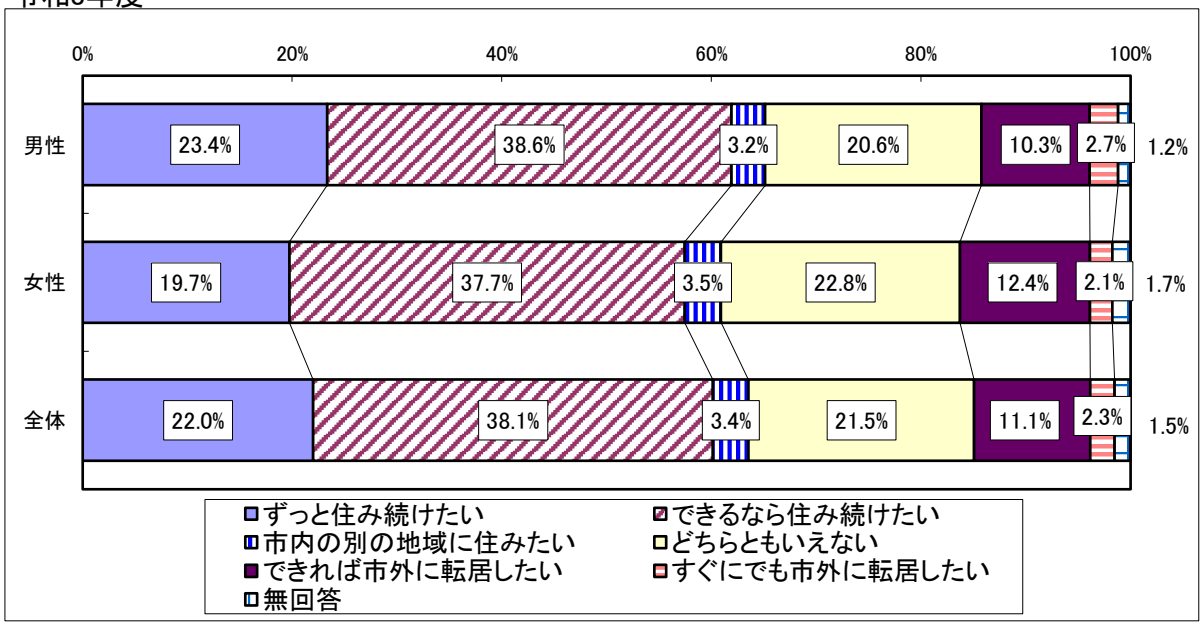
前年度との比較

◆“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合は、前年度（65.7%）より2.2ポイント減少している。

◆“青森市から転居したい”と回答した人の割合は、前年度（10.0%）より3.4ポイント増加している。

【性別】

令和8年度



性別では、「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合は、男性が23.4%、女性が19.7%であった。また、“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合は、男性が65.2%、女性が60.9%であった。

	ずっと住み続けたい	できるなら住み続けたい	市内の別の地域に住みたい	どちらともいえない	できれば市外に転居したい	すぐにでも市外に転居したい	無回答
令和6年度							
男性	26.6%	42.3%	3.1%	16.8%	9.4%	1.1%	0.8%
女性	28.9%	37.2%	2.4%	20.3%	8.5%	1.6%	1.0%
令和7年度							
男性	24.0%	39.6%	2.3%	22.0%	9.4%	1.3%	1.4%
女性	25.0%	36.2%	2.9%	24.7%	8.0%	1.0%	2.2%
令和8年度							
男性	23.4%	38.6%	3.2%	20.6%	10.3%	2.7%	1.2%
女性	19.7%	37.7%	3.5%	22.8%	12.4%	2.1%	1.7%

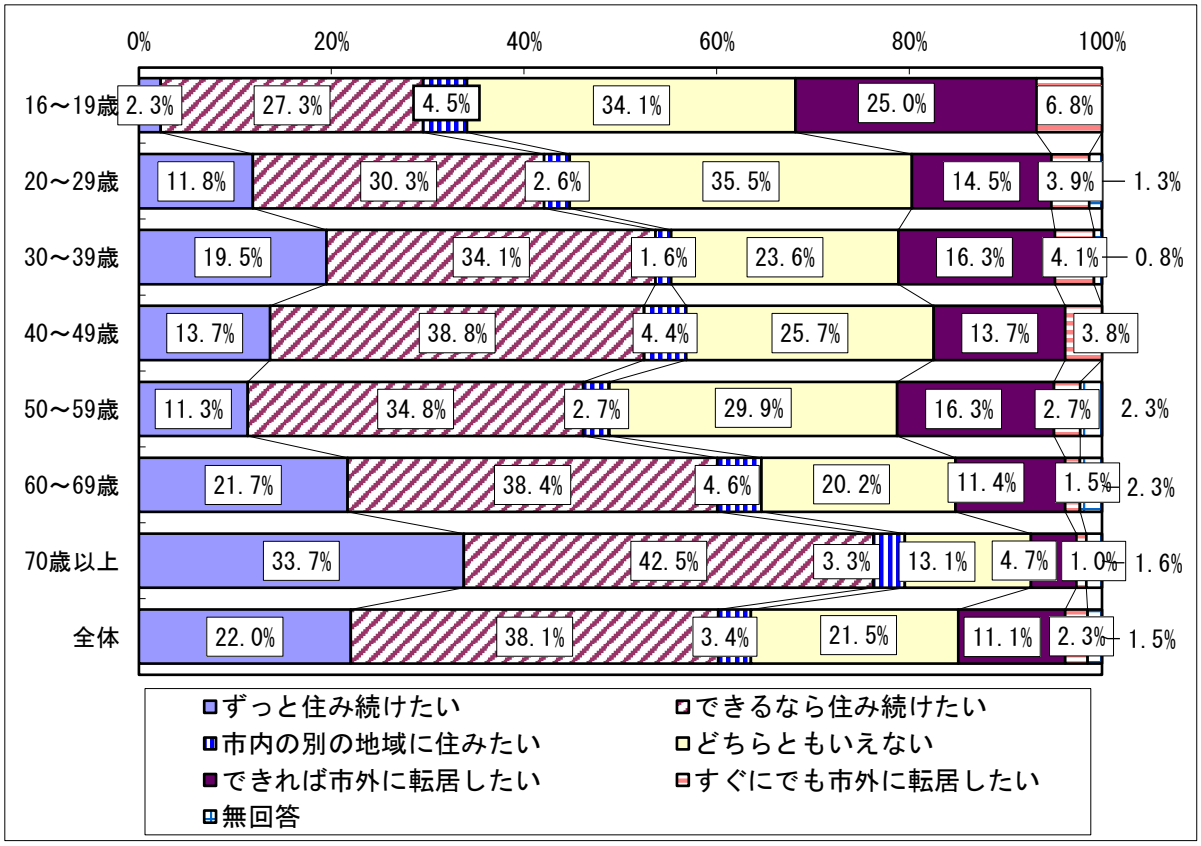
前年度との比較

◆“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合は、男性は前年度（65.9%）より0.7ポイント、女性は前年度（64.1%）より3.2ポイントそれぞれ減少している。

◆“青森市から転居したい”と回答した人の割合は、男性は前年度（10.7%）より2.3ポイント、女性は前年度（9.0%）より5.5ポイントそれぞれ増加している。

【年齢層別】

令和8年度



年齢層別では、「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合は、70歳以上(33.7%)が最も高く、16～19歳(2.3%)が最も低い。また、“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合についても、70歳以上(79.5%)が最も高く、16～19歳(34.1%)が最も低くなっている。

	ずっと住み続けたい	できるなら住み続けたい	市内の別の地域に住みたい	どちらともいえない	できれば市外に転居したい	すぐにでも市外に転居したい	無回答
令和6年度							
16～19歳	6.1%	24.2%	0.0%	30.3%	36.4%	3.0%	0.0%
20～29歳	10.1%	37.7%	2.9%	29.0%	18.8%	1.4%	0.0%
30～39歳	22.2%	33.3%	1.9%	23.1%	13.9%	1.9%	3.7%
40～49歳	26.1%	43.1%	3.9%	17.6%	6.5%	2.6%	0.0%
50～59歳	20.9%	35.7%	1.1%	29.1%	9.9%	2.7%	0.5%
60～69歳	23.7%	41.5%	5.2%	17.4%	9.8%	1.7%	0.7%
70歳以上	41.7%	40.1%	2.3%	10.7%	3.9%	0.5%	0.9%
令和7年度							
16～19歳	17.9%	20.5%	7.7%	28.2%	17.9%	5.1%	2.6%
20～29歳	15.7%	38.6%	2.4%	31.3%	8.4%	2.4%	1.2%
30～39歳	17.6%	35.2%	2.2%	35.2%	7.7%	1.1%	1.1%
40～49歳	15.2%	41.5%	1.8%	23.2%	14.6%	1.2%	2.4%
50～59歳	16.0%	36.1%	3.1%	27.8%	13.9%	2.6%	0.5%
60～69歳	23.3%	38.5%	2.9%	25.5%	8.0%	0.7%	1.1%
70歳以上	37.4%	39.5%	1.9%	14.0%	3.7%	0.9%	2.6%

令和8年度	ずっと住み続けたい	できるなら住み続けたい	市内の別の地域に住みたい	どちらともいえない	できれば市外に転居したい	すぐにでも市外に転居したい	無回答
16～19歳	2.3%	27.3%	4.5%	34.1%	25.0%	6.8%	0.0%
20～29歳	11.8%	30.3%	2.6%	35.5%	14.5%	3.9%	1.3%
30～39歳	19.5%	34.1%	1.6%	23.6%	16.3%	4.1%	0.8%
40～49歳	13.7%	38.8%	4.4%	25.7%	13.7%	3.8%	0.0%
50～59歳	11.3%	34.8%	2.7%	29.9%	16.3%	2.7%	2.3%
60～69歳	21.7%	38.4%	4.6%	20.2%	11.4%	1.5%	2.3%
70歳以上	33.7%	42.5%	3.3%	13.1%	4.7%	1.0%	1.6%

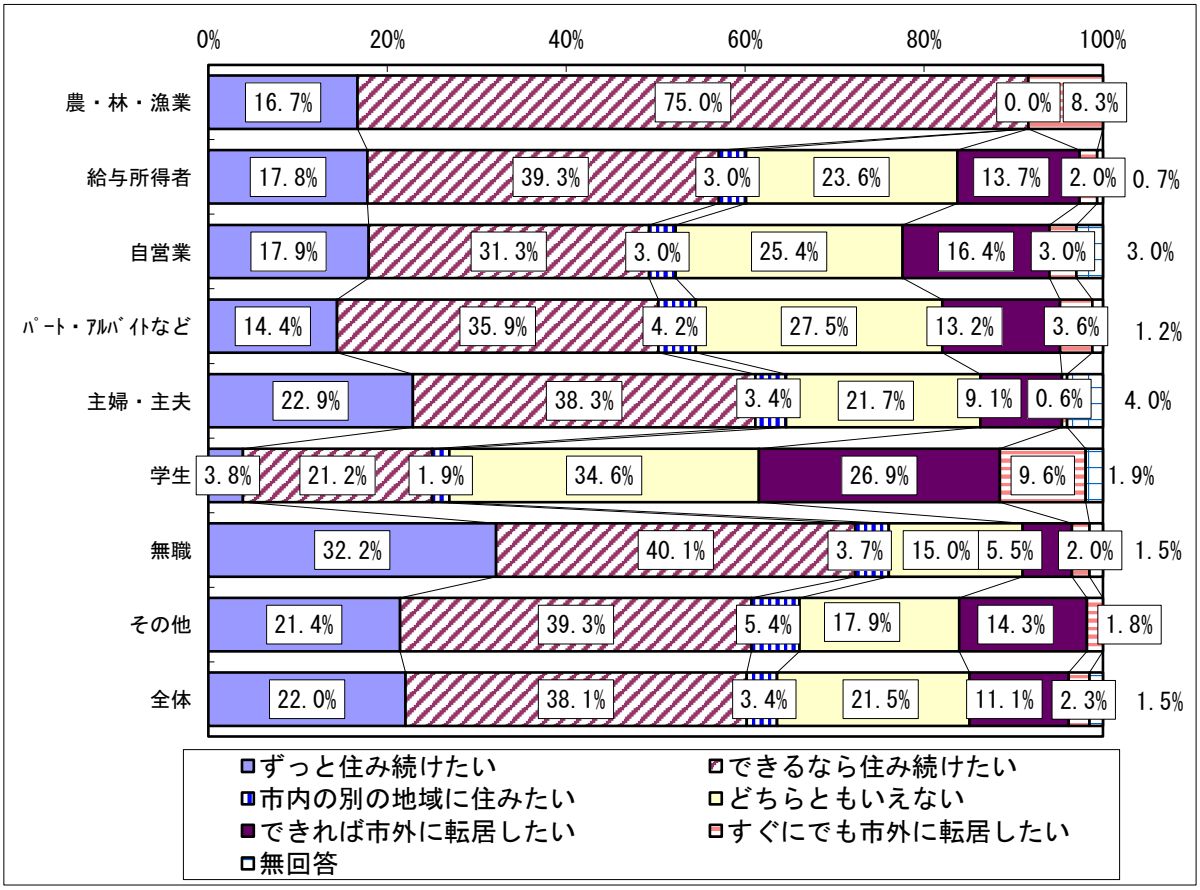
前年度との比較

◆“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合は、70歳以上の年齢層で前年度（78.8%）より0.7ポイント増加したが、16～19歳の年齢層及び20～29歳の年齢層でそれぞれ前年度（46.1%及び56.7%）より12.0ポイント減少している。

◆“青森市から転居したい”と回答した人の割合は、30～39歳の年齢層で前年度（8.8%）より11.6ポイント、16～19歳の年齢層で前年度（23.0%）より8.8ポイント増加している。

【職業別】

令和8年度



職業別では、「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合は、無職(32.2%)が最も高く、学生(3.8%)が最も低い。また、“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合については、農・林・漁業(91.7%)が最も高く、学生(26.9%)が最も低くなっている。

	ずっと住み続けたい	できるなら住み続けたい	市内の別の地域に住みたい	どちらともいえない	できれば市外に転居したい	すぐにでも市外に転居したい	無回答
令和6年度							
農・林・漁業	50.0%	33.3%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
給与所得者	22.6%	42.6%	2.9%	20.5%	9.2%	1.3%	0.8%
自営業	24.7%	43.8%	1.4%	13.7%	13.7%	1.4%	1.4%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	21.1%	36.3%	4.1%	22.8%	13.5%	1.8%	0.6%
主婦・主夫	35.2%	38.3%	1.9%	15.4%	4.9%	2.5%	1.9%
学生	10.0%	22.5%	2.5%	30.0%	32.5%	2.5%	0.0%
無職	36.3%	39.3%	3.3%	14.1%	5.4%	0.8%	0.8%
その他	32.0%	30.0%	4.0%	28.0%	4.0%	2.0%	0.0%
令和7年度							
農・林・漁業	40.0%	40.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%
給与所得者	18.5%	39.0%	3.0%	25.9%	10.6%	1.6%	1.4%
自営業	15.8%	45.6%	0.0%	24.6%	12.3%	0.0%	1.8%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	23.4%	39.2%	3.2%	24.1%	8.2%	0.6%	1.3%
主婦・主夫	26.5%	37.6%	2.9%	20.6%	9.4%	0.6%	2.4%
学生	11.1%	24.1%	5.6%	31.5%	22.2%	3.7%	1.9%
無職	35.5%	39.1%	1.1%	17.3%	3.9%	1.1%	2.0%
その他	28.8%	28.8%	3.4%	27.1%	5.1%	5.1%	1.7%

令和8年度	ずっと住み続けたい	できるなら住み続けたい	市内の別の地域に住みたい	どちらともいえない	できれば市外に転居したい	すぐにでも市外に転居したい	無回答
農・林・漁業	16.7%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
給与所得者	17.8%	39.3%	3.0%	23.6%	13.7%	2.0%	0.7%
自営業	17.9%	31.3%	3.0%	25.4%	16.4%	3.0%	3.0%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	14.4%	35.9%	4.2%	27.5%	13.2%	3.6%	1.2%
主婦・主夫	22.9%	38.3%	3.4%	21.7%	9.1%	0.6%	4.0%
学生	3.8%	21.2%	1.9%	34.6%	26.9%	9.6%	1.9%
無職	32.2%	40.1%	3.7%	15.0%	5.5%	2.0%	1.5%
その他	21.4%	39.3%	5.4%	17.9%	14.3%	1.8%	0.0%

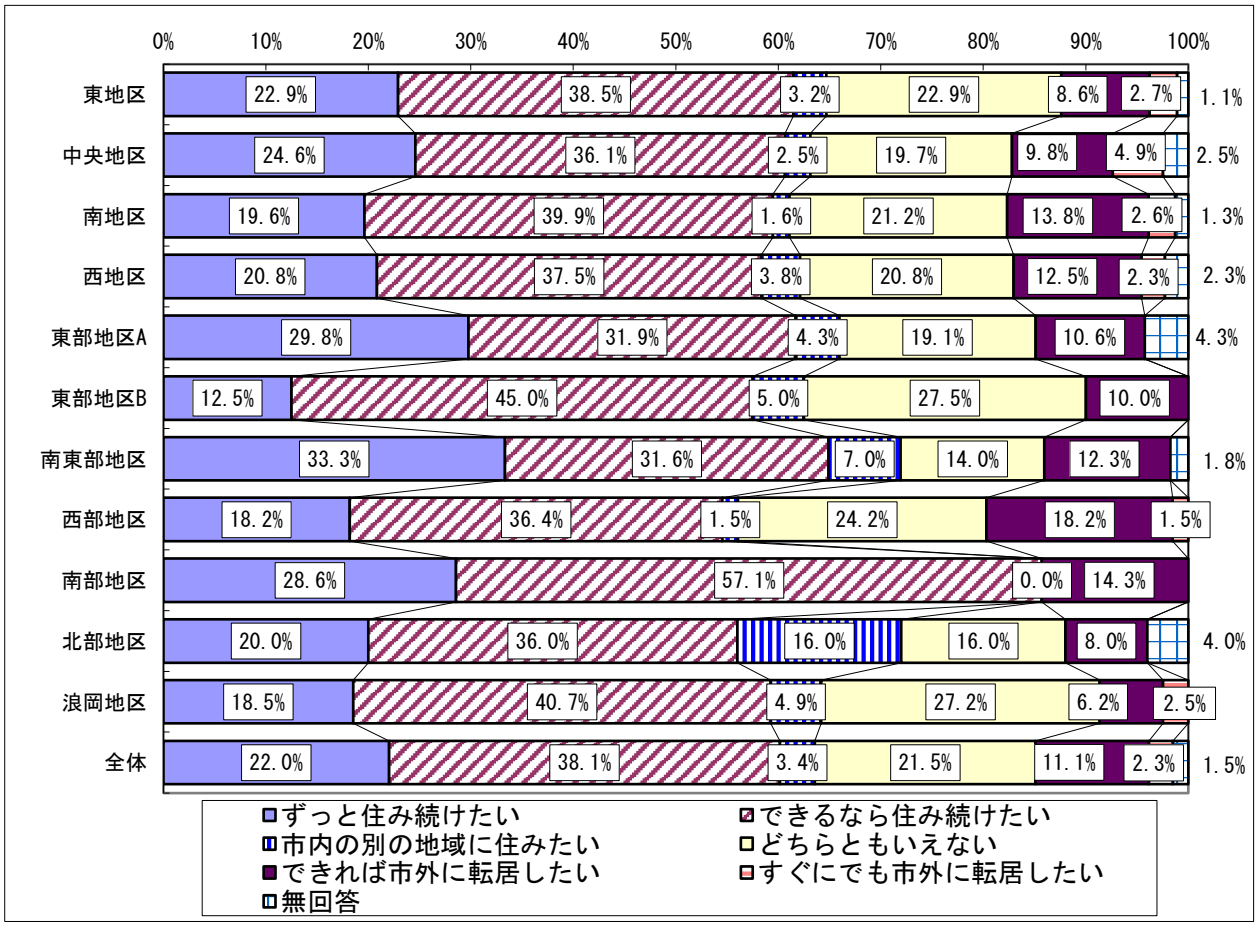
前年度との比較

◆“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合は、農・林・漁業及び無職の各職業区分において増加している。

◆“青森市から転居したい”と回答した人の割合は、主婦・主夫を除いた全ての職業区分において増加している。

【居住地区別】

令和8年度



居住地区別では、「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合は、南東部地区(33.3%)が最も高く、次いで東部地区A(29.8%)、南部地区(28.6%)となっている。また、“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合は、南部地区（85.7%)が最も高く、北部地区（72.0%）、南東部地区（71.9%）の順で高くなっている。

令和6年度	ずっと住み続けたい	できるなら住み続けたい	市内の別の地域に住みたい	どちらともいえない	できれば市外に転居したい	すぐにでも市外に転居したい	無回答
東地区	32.4%	38.4%	2.3%	17.0%	8.2%	1.1%	0.6%
中央地区	24.5%	37.7%	2.8%	17.9%	13.2%	2.8%	0.9%
南地区	25.7%	43.1%	1.1%	18.6%	9.7%	1.5%	0.4%
西地区	25.7%	40.4%	2.4%	20.0%	8.2%	2.4%	0.8%
東部地区A	29.5%	40.9%	9.1%	15.9%	4.5%	0.0%	0.0%
東部地区B	24.3%	24.3%	5.4%	27.0%	16.2%	0.0%	2.7%
南東部地区	31.4%	37.3%	7.8%	11.8%	5.9%	2.0%	3.9%
西部地区	23.9%	35.8%	4.5%	22.4%	10.4%	3.0%	0.0%
南部地区	26.1%	47.8%	8.7%	13.0%	0.0%	0.0%	4.3%
北部地区	40.0%	20.0%	5.0%	20.0%	15.0%	0.0%	0.0%
浪岡地区	33.3%	36.8%	3.5%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%

令和7年度	ずっと住み続けたい	できるなら住み続けたい	市内の別の地域に住みたい	どちらともいえない	できれば市外に転居したい	すぐにでも市外に転居したい	無回答
東地区	25.9%	36.9%	1.5%	25.6%	8.1%	0.9%	1.2%
中央地区	27.5%	37.6%	0.9%	20.2%	11.0%	1.8%	0.9%
南地区	28.9%	35.2%	0.0%	25.1%	8.4%	0.3%	2.1%
西地区	22.6%	45.1%	2.6%	16.9%	8.3%	2.6%	1.9%
東部地区A	26.5%	32.4%	2.9%	26.5%	8.8%	0.0%	2.9%
東部地区B	19.0%	42.9%	11.9%	11.9%	9.5%	2.4%	2.4%
南東部地区	15.1%	47.2%	7.5%	20.8%	7.5%	0.0%	1.9%
西部地区	22.2%	30.2%	9.5%	20.6%	14.3%	3.2%	0.0%
南部地区	36.4%	13.6%	0.0%	40.9%	9.1%	0.0%	0.0%
北部地区	26.3%	42.1%	10.5%	15.8%	0.0%	5.3%	0.0%
浪岡地区	20.0%	38.5%	3.1%	27.7%	4.6%	1.5%	4.6%
令和8年度							
東地区	22.9%	38.5%	3.2%	22.9%	8.6%	2.7%	1.1%
中央地区	24.6%	36.1%	2.5%	19.7%	9.8%	4.9%	2.5%
南地区	19.6%	39.9%	1.6%	21.2%	13.8%	2.6%	1.3%
西地区	20.8%	37.5%	3.8%	20.8%	12.5%	2.3%	2.3%
東部地区A	29.8%	31.9%	4.3%	19.1%	10.6%	0.0%	4.3%
東部地区B	12.5%	45.0%	5.0%	27.5%	10.0%	0.0%	0.0%
南東部地区	33.3%	31.6%	7.0%	14.0%	12.3%	0.0%	1.8%
西部地区	18.2%	36.4%	1.5%	24.2%	18.2%	1.5%	0.0%
南部地区	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
北部地区	20.0%	36.0%	16.0%	16.0%	8.0%	0.0%	4.0%
浪岡地区	18.5%	40.7%	4.9%	27.2%	6.2%	2.5%	0.0%

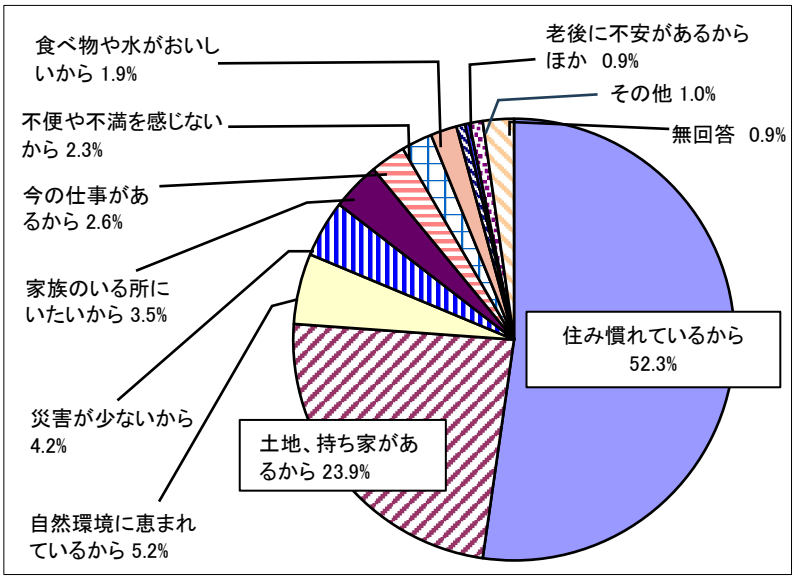
前年度との比較

◆“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合は、南部地区で前年度（50.0%）より35.7ポイント増加したが、東部地区Bで前年度（73.8%）より11.3ポイント減少している。

◆“青森市から転居したい”と回答した人の割合は、東部地区Bで前年度（11.9%）より1.9ポイント減少したが、南地区で前年度（8.7%）より7.7ポイント増加している。

【問３－①】問３で答えた理由として、もっとも近いものを**１つ選び**○をつけてください。

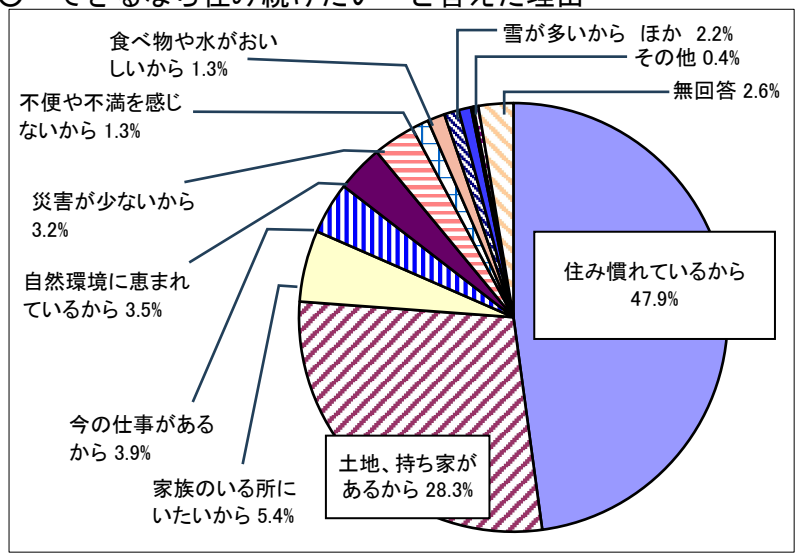
○“ずっと住み続けたい”と答えた理由



“ずっと住み続けたい”と回答した人のうち52.3%の人が「住み慣れているから」という理由であった。

以下、「土地、持ち家があるから」（23.9%）、「自然環境に恵まれているから」（5.2%）と続き、上位3項目で全体の80%を超えている。

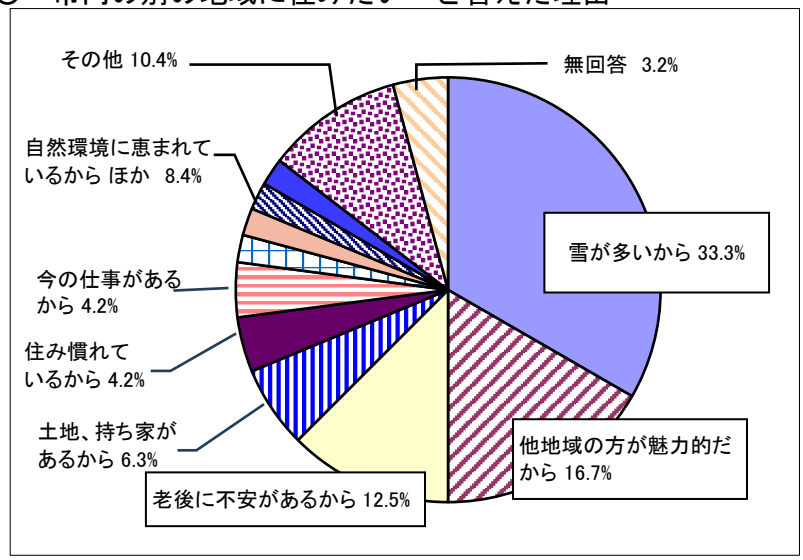
○“できるなら住み続けたい”と答えた理由



“できるなら住み続けたい”と回答した人についても、“ずっと住み続けたい”と回答した人と同様に「住み慣れているから」（47.9%）という理由が最も多かった。

以下、「土地、持ち家があるから」（28.3%）、「家族のいる所にいたいから」（5.4%）と続き、上位3項目で全体の80%を超えている。

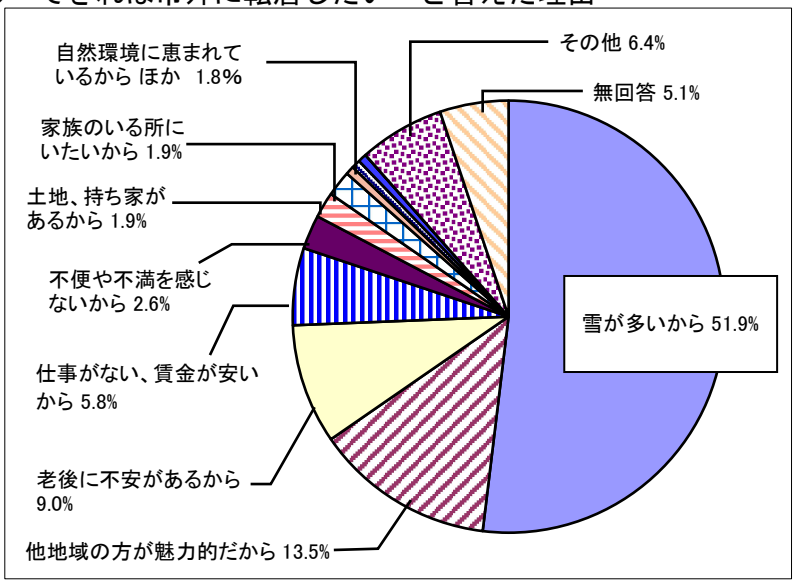
○“市内の別の地域に住みたい”と答えた理由



“市内の別の地域に住みたい”と回答した人のうち、33.3%の人が「雪が多いから」という理由であった。

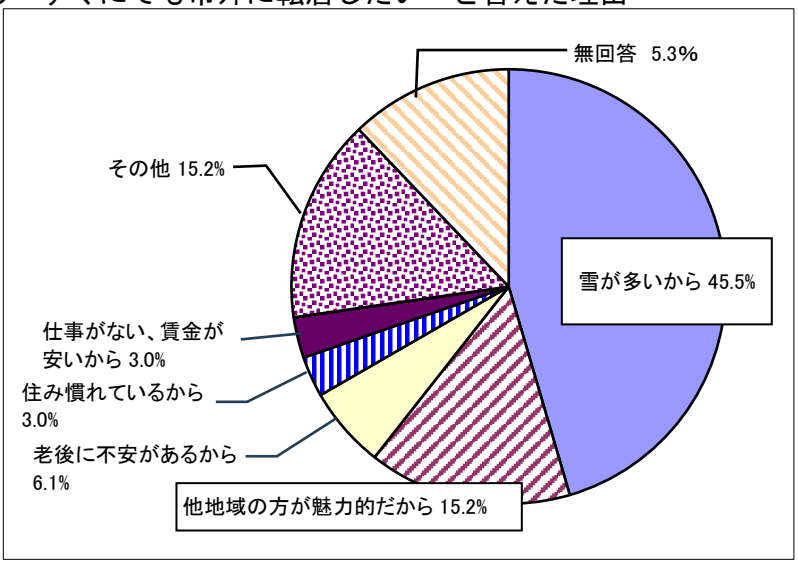
以下、「他地域の方が魅力的だから」（16.7%）、「老後に不安があるから」（12.5%）と続いている。

○“できれば市外に転居したい”と答えた理由



“できれば市外に転居したい”と回答した人のうち、51.9%の人が「雪が多いから」との理由を挙げており、以下「他地域の方が魅力的だから」（13.5%）、「老後に不安があるから」（9.0%）と続いている。

○“すぐにでも市外に転居したい”と答えた理由

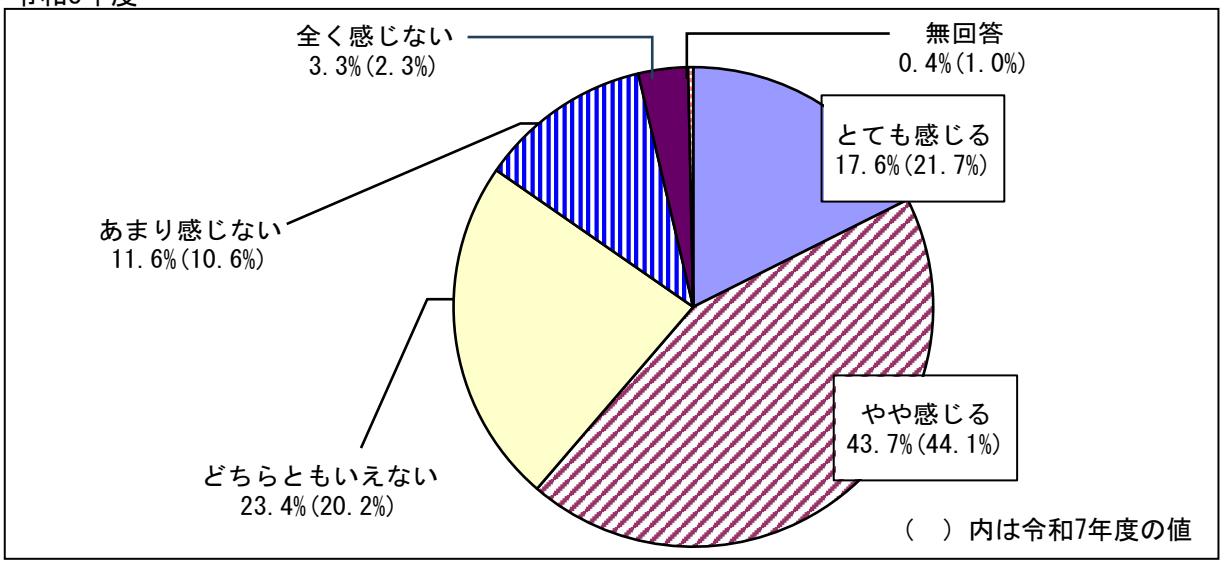


“すぐにでも市外に転居したい”と回答した人のうち、45.5%の人が「雪が多いから」との理由を挙げており、以下「他地域の方が魅力的だから」（15.2%）、「老後に不安があるから」（6.1%）と続いている。

２　青森市への誇りや愛着、青森市に住んでもらいたいか

【問４】あなたは、青森市に誇りや愛着を感じますか。（○は１つ）

【全体】
令和8年度



17.6%の人が「とても感じる」と回答しており、これに「やや感じる」（43.7%）を合わせた“誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は61.3%となっている。
一方、「全く感じない」（3.3%）と「あまり感じない」（11.6%）を合わせた“誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は14.9%となっている。

	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
令和6年度						
回答数	270	572	263	138	35	7
構成比	21.0%	44.5%	20.5%	10.7%	2.7%	0.5%
令和7年度						
回答数	287	582	267	140	31	13
構成比	21.7%	44.1%	20.2%	10.6%	2.3%	1.0%
令和8年度						
回答数	248	615	329	164	47	5
構成比	17.6%	43.7%	23.4%	11.6%	3.3%	0.4%

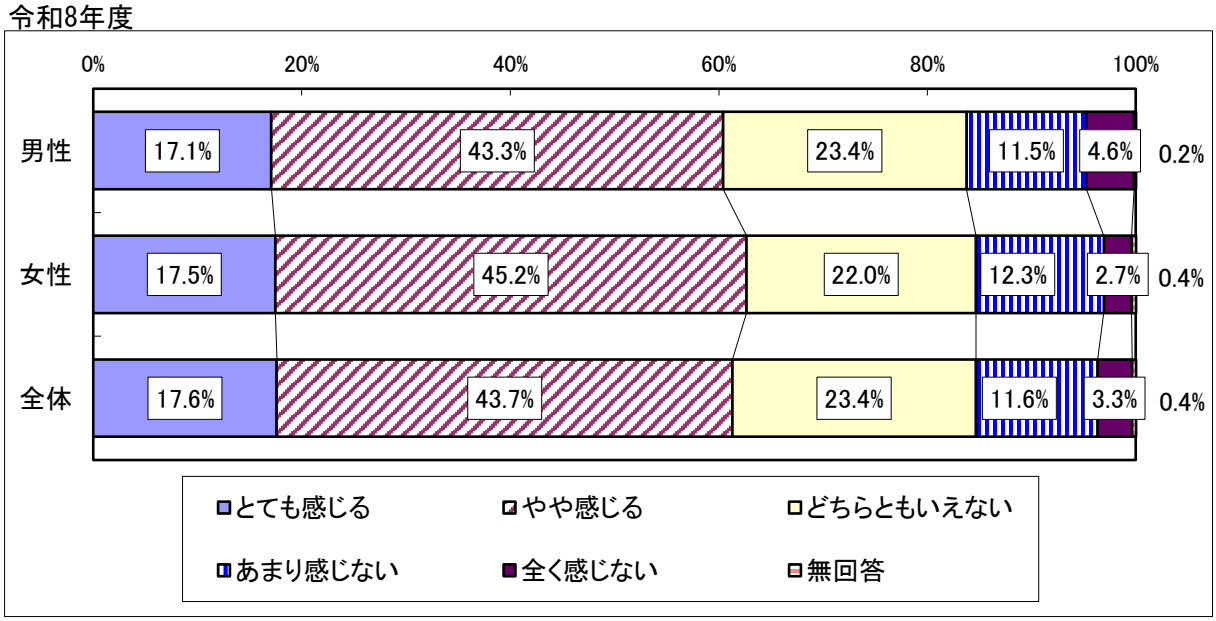
前年度との比較

◆“誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、前年度(65.8%)より4.5ポイント減少している。

◆“誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は、前年度(12.9%)より2.0ポイント増加している。

【性別】

令和8年度



性別では、「とても感じる」と「やや感じる」の回答を合わせた“誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、男女ともに60%を超えており、女性（62.7%）が男性（60.4%）を2.3ポイント上回っている。

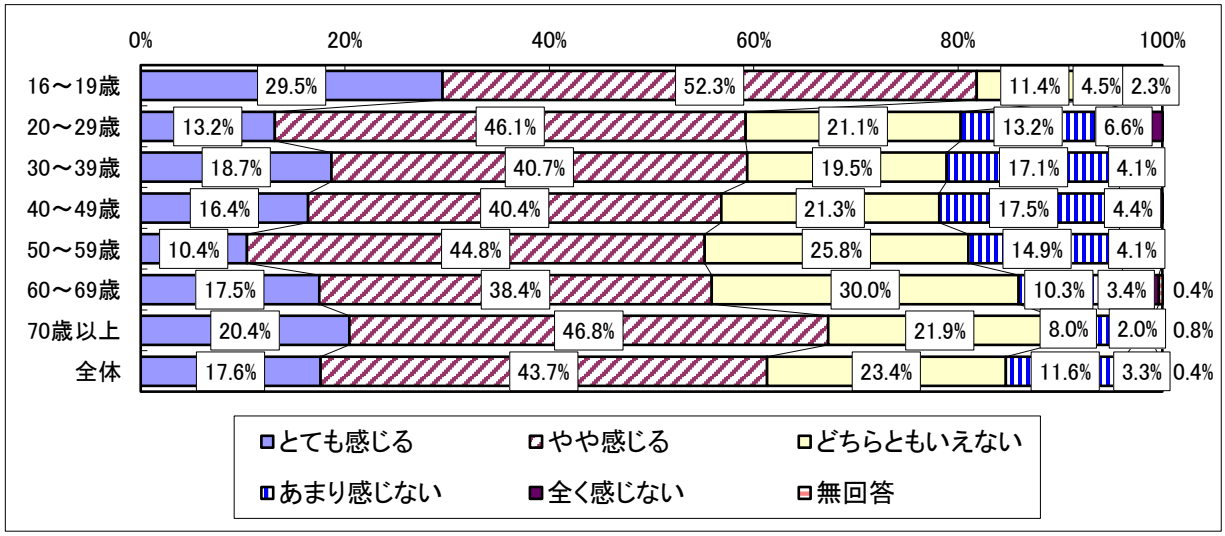
	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
令和6年度						
男性	21.0%	42.8%	20.3%	12.4%	3.1%	0.4%
女性	20.2%	46.3%	20.8%	9.7%	2.3%	0.7%
令和7年度						
男性	20.2%	42.3%	20.5%	12.3%	3.6%	1.1%
女性	23.2%	45.4%	20.4%	9.1%	1.3%	0.6%
令和8年度						
男性	17.1%	43.3%	23.4%	11.5%	4.6%	0.2%
女性	17.5%	45.2%	22.0%	12.3%	2.7%	0.4%

前年度との比較

◆“誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、男性で前年度（62.5%）より2.1ポイント減少、女性で前年度（68.6%）より5.9ポイント減少している。

◆“誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は、男性で前年度（15.9%）より0.2ポイント増加、女性で前年度（10.4%）より4.6ポイント増加している。

【年齢層別】
令和8年度



年齢層別では、「とても感じる」と答えた人の割合は、16～19歳(29.5%)が最も高く、次いで70歳以上(20.4%)となっている。また、“誇りや愛着を感じる”と答えた人の割合は、16～19歳(81.8%)が最も高く、次いで70歳以上(67.2%)となっている。

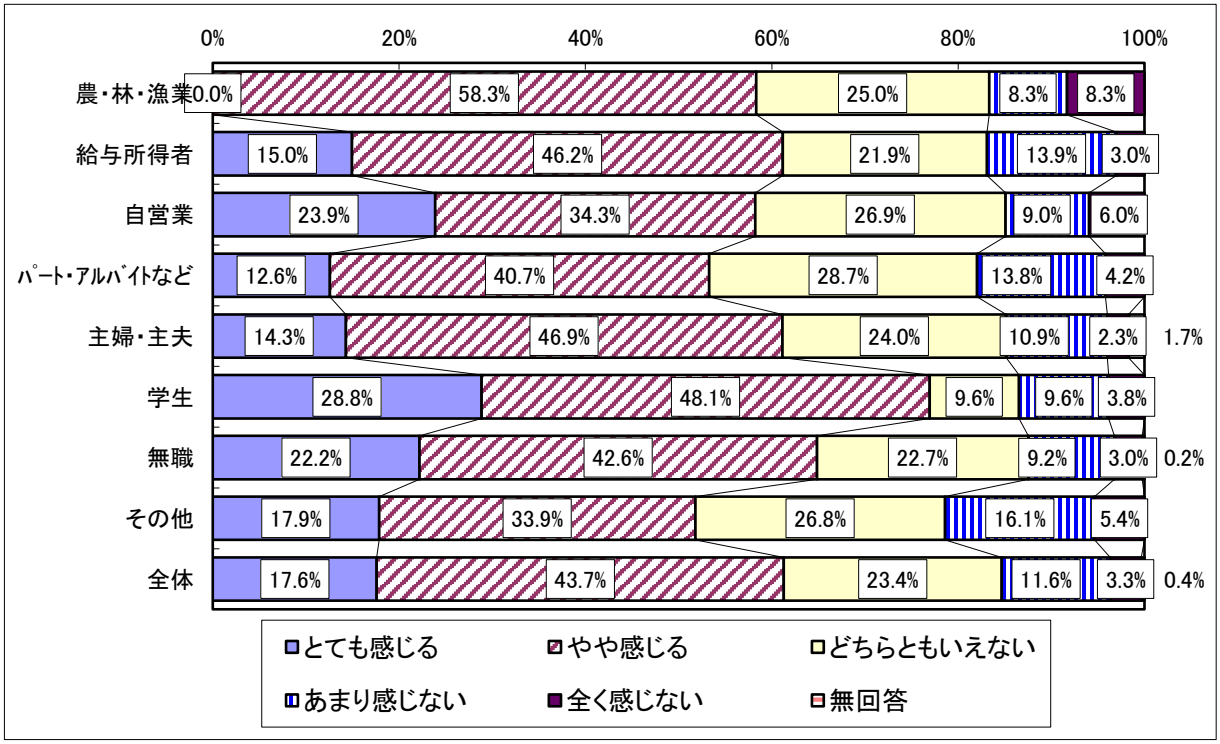
	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
令和6年度						
16～19歳	21.2%	48.5%	15.2%	12.1%	3.0%	0.0%
20～29歳	17.4%	46.4%	14.5%	13.0%	7.2%	1.4%
30～39歳	15.7%	39.8%	22.2%	17.6%	4.6%	0.0%
40～49歳	19.0%	40.5%	26.1%	10.5%	3.9%	0.0%
50～59歳	17.6%	50.5%	18.7%	10.4%	2.7%	0.0%
60～69歳	18.1%	43.6%	24.4%	11.1%	2.1%	0.7%
70歳以上	27.0%	44.2%	17.7%	8.6%	1.6%	0.9%
令和7年度						
16～19歳	30.8%	41.0%	15.4%	7.7%	2.6%	2.6%
20～29歳	22.9%	33.7%	25.3%	14.5%	3.6%	0.0%
30～39歳	15.4%	47.3%	16.5%	15.4%	5.5%	0.0%
40～49歳	22.0%	44.5%	15.9%	12.8%	4.3%	0.6%
50～59歳	19.6%	45.9%	19.6%	12.4%	2.6%	0.0%
60～69歳	20.0%	42.2%	24.0%	10.9%	1.8%	1.1%
70歳以上	23.8%	46.0%	20.3%	7.6%	1.1%	1.3%
令和8年度						
16～19歳	29.5%	52.3%	11.4%	4.5%	2.3%	0.0%
20～29歳	13.2%	46.1%	21.1%	13.2%	6.6%	0.0%
30～39歳	18.7%	40.7%	19.5%	17.1%	4.1%	0.0%
40～49歳	16.4%	40.4%	21.3%	17.5%	4.4%	0.0%
50～59歳	10.4%	44.8%	25.8%	14.9%	4.1%	0.0%
60～69歳	17.5%	38.4%	30.0%	10.3%	3.4%	0.4%
70歳以上	20.4%	46.8%	21.9%	8.0%	2.0%	0.8%

前年度との比較

◆“誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、16～19歳の年齢層で前年度（71.8%）より10.0ポイント増加したが、50～59歳の年齢層で前年度（65.5%）より10.3ポイント減少している。

◆“誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は、16～19歳の年齢層で前年度（10.3%）より3.5ポイント減少したが、40～49歳の年齢層で前年度（17.1%）より4.8ポイント増加している。

【職業別】
令和8年度



職業別では、「とても感じる」と回答した人の割合は、学生（28.8%）が最も高く、次いで自営業(23.9%)となっている。また、“誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、学生(76.9%)が最も高く、次いで無職(64.8%)となっている。

	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
令和6年度						
農・林・漁業	25.0%	16.7%	33.3%	8.3%	16.7%	0.0%
給与所得者	18.9%	47.1%	19.2%	12.1%	2.1%	0.5%
自営業	24.7%	43.8%	15.1%	9.6%	6.8%	0.0%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	19.3%	40.9%	24.6%	13.5%	1.8%	0.0%
主婦・主夫	21.6%	46.9%	19.1%	8.6%	3.1%	0.6%
学生	25.0%	47.5%	10.0%	12.5%	5.0%	0.0%
無職	21.1%	45.0%	22.2%	8.7%	1.9%	1.1%
その他	28.0%	34.0%	24.0%	10.0%	4.0%	0.0%
令和7年度						
農・林・漁業	30.0%	40.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%
給与所得者	19.4%	43.2%	21.0%	12.5%	3.5%	0.5%
自営業	28.1%	38.6%	19.3%	10.5%	3.5%	0.0%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	15.8%	48.7%	23.4%	10.1%	1.3%	0.6%
主婦・主夫	22.4%	46.5%	18.2%	11.2%	0.6%	1.2%
学生	31.5%	42.6%	16.7%	7.4%	0.0%	1.9%
無職	23.5%	44.4%	20.4%	8.4%	2.0%	1.4%
その他	23.7%	40.7%	20.3%	8.5%	6.8%	0.0%

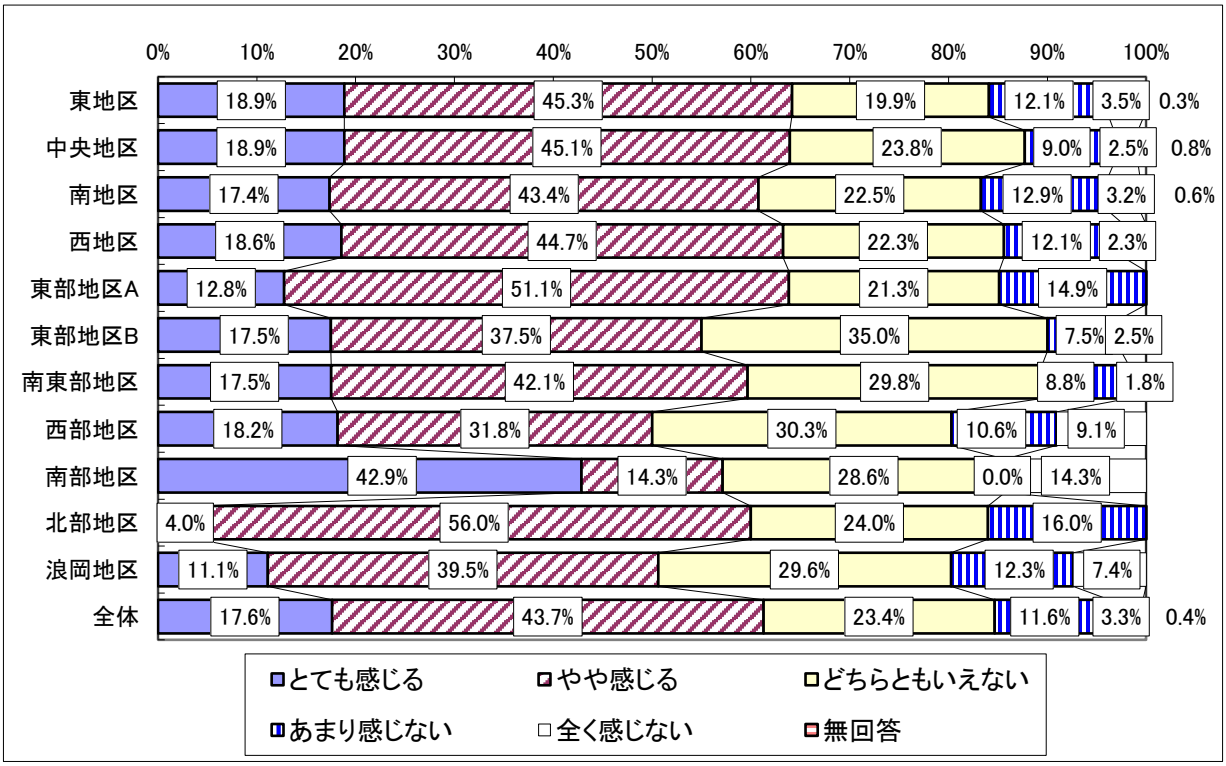
令和8年度	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
農・林・漁業	0.0%	58.3%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%
給与所得者	15.0%	46.2%	21.9%	13.9%	3.0%	0.0%
自営業	23.9%	34.3%	26.9%	9.0%	6.0%	0.0%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	12.6%	40.7%	28.7%	13.8%	4.2%	0.0%
主婦・主夫	14.3%	46.9%	24.0%	10.9%	2.3%	1.7%
学生	28.8%	48.1%	9.6%	9.6%	3.8%	0.0%
無職	22.2%	42.6%	22.7%	9.2%	3.0%	0.2%
その他	17.9%	33.9%	26.8%	16.1%	5.4%	0.0%

前年度との比較

◆“誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、学生の職業区分で前年度（74.1%）より2.8ポイント増加したが、農・林・漁業の職業区分で前年度（70.0%）より11.7ポイント減少している。

◆“誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は、農・林・漁業の職業区分で前年度（30.0%）より13.4ポイント減少したが、パート・アルバイトなどの職業区分で前年度（11.4%）より6.6ポイント増加している。

【居住地区別】
令和8年度



居住地区別では、「とても感じる」と答えた人の割合は、南部地区（42.9%）が最も高く、次いで東地区、中央地区(18.9%）となっている。また、“誇りや愛着を感じる”と答えた人の割合は、東地区（64.2%）が最も高く、次いで中央地区（64.0%）となっている。

	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
令和6年度						
東地区	22.7%	42.9%	21.6%	9.4%	2.8%	0.6%
中央地区	19.8%	42.5%	16.0%	16.0%	5.7%	0.0%
南地区	17.8%	50.6%	21.2%	8.9%	0.7%	0.7%
西地区	21.6%	43.3%	18.0%	12.7%	4.1%	0.4%
東部地区A	20.5%	38.6%	22.7%	13.6%	4.5%	0.0%
東部地区B	24.3%	43.2%	21.6%	8.1%	0.0%	2.7%
南東部地区	31.4%	45.1%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%
西部地区	14.9%	44.8%	26.9%	11.9%	1.5%	0.0%
南部地区	21.7%	26.1%	34.8%	17.4%	0.0%	0.0%
北部地区	15.0%	40.0%	25.0%	15.0%	5.0%	0.0%
浪岡地区	17.5%	50.9%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%
令和7年度						
東地区	19.8%	45.6%	20.3%	11.6%	2.0%	0.6%
中央地区	22.9%	40.4%	20.2%	14.7%	0.9%	0.9%
南地区	25.1%	43.6%	19.2%	8.7%	2.1%	1.4%
西地区	23.3%	44.4%	18.0%	11.3%	2.6%	0.4%
東部地区A	32.4%	35.3%	11.8%	17.6%	2.9%	0.0%
東部地区B	19.0%	42.9%	28.6%	7.1%	0.0%	2.4%
南東部地区	17.0%	47.2%	20.8%	13.2%	0.0%	1.9%
西部地区	15.9%	55.6%	17.5%	6.3%	4.8%	0.0%
南部地区	13.6%	31.8%	50.0%	4.5%	0.0%	0.0%
北部地区	5.3%	47.4%	26.3%	10.5%	10.5%	0.0%
浪岡地区	18.5%	41.5%	26.2%	9.2%	4.6%	0.0%

令和8年度	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
東地区	18.9%	45.3%	19.9%	12.1%	3.5%	0.3%
中央地区	18.9%	45.1%	23.8%	9.0%	2.5%	0.8%
南地区	17.4%	43.4%	22.5%	12.9%	3.2%	0.6%
西地区	18.6%	44.7%	22.3%	12.1%	2.3%	0.0%
東部地区A	12.8%	51.1%	21.3%	14.9%	0.0%	0.0%
東部地区B	17.5%	37.5%	35.0%	7.5%	2.5%	0.0%
南東部地区	17.5%	42.1%	29.8%	8.8%	1.8%	0.0%
西部地区	18.2%	31.8%	30.3%	10.6%	9.1%	0.0%
南部地区	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%
北部地区	4.0%	56.0%	24.0%	16.0%	0.0%	0.0%
浪岡地区	11.1%	39.5%	29.6%	12.3%	7.4%	0.0%

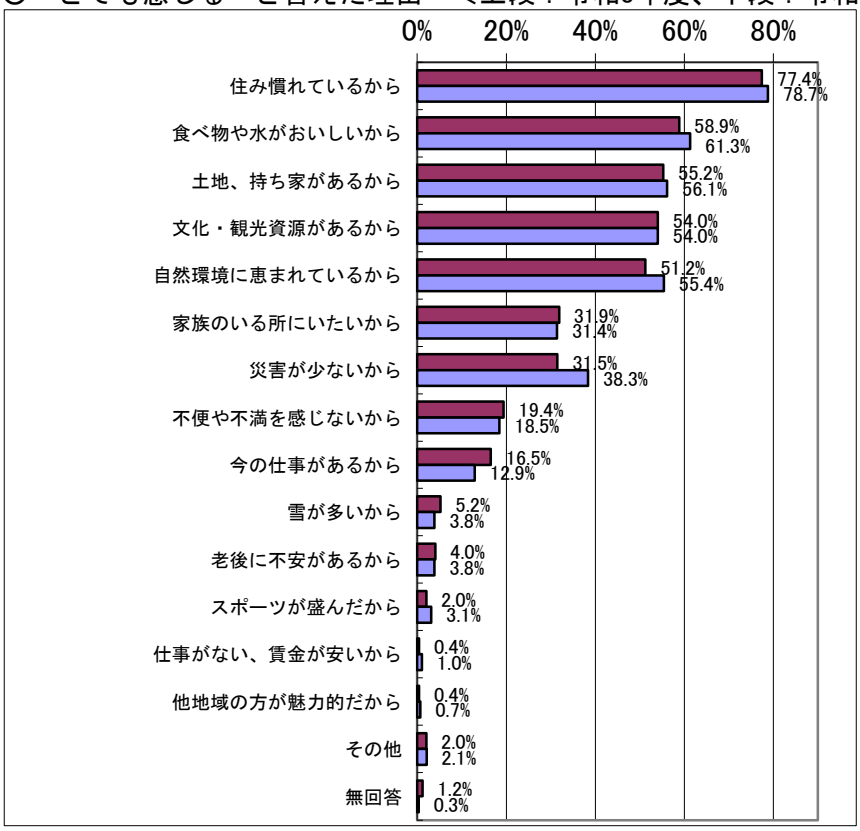
前年度との比較

◆“誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、南部地区で前年度（45.4%）より11.8ポイント増加したが、西部地区で前年度（71.5%）よ21.5ポイント減少している。

◆“誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は、東部地区Aで前年度（20.5%）より5.6ポイント減少したが、南部地区で前年度（4.5%）より9.8ポイント増加している。

【問４－①】問４で答えた理由として該当するものを**すべて選び**○をつけてください。

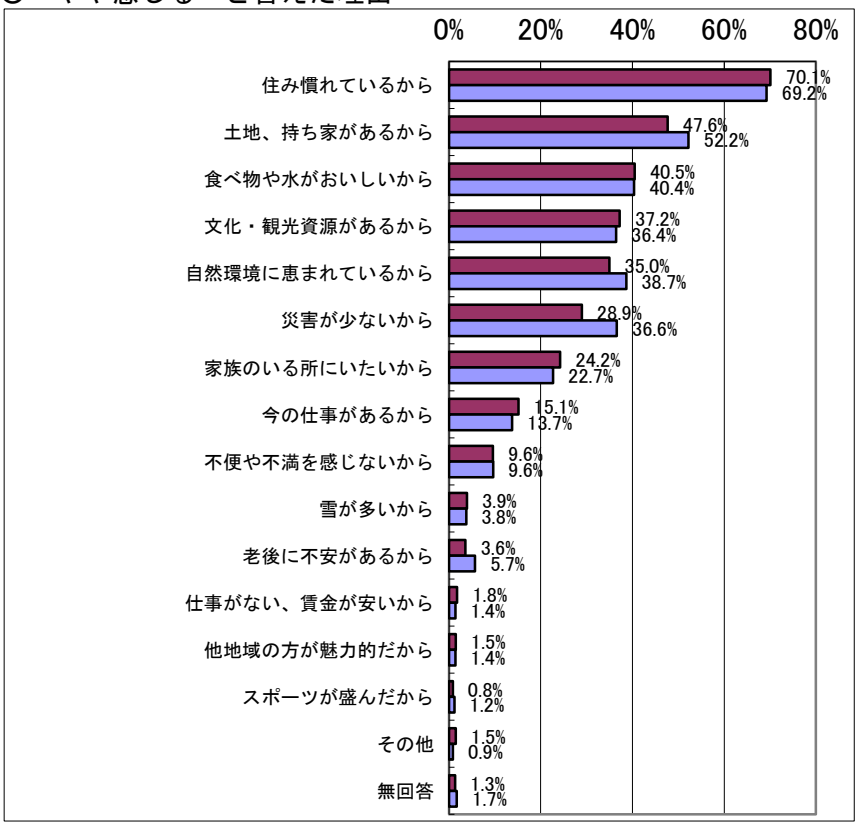
○“とても感じる”と答えた理由　＜上段：令和8年度、下段：令和7年度＞



“とても感じる”と回答した理由として、最も割合が高いのは「住み慣れているから」（77.4%）であった。

以下、「食べ物や水がおいしいから」（58.9%）、「土地、持ち家があるから」（55.2%）、「ねぶた祭や温泉などの文化・観光資源があるから」（54.0%）と続いている。

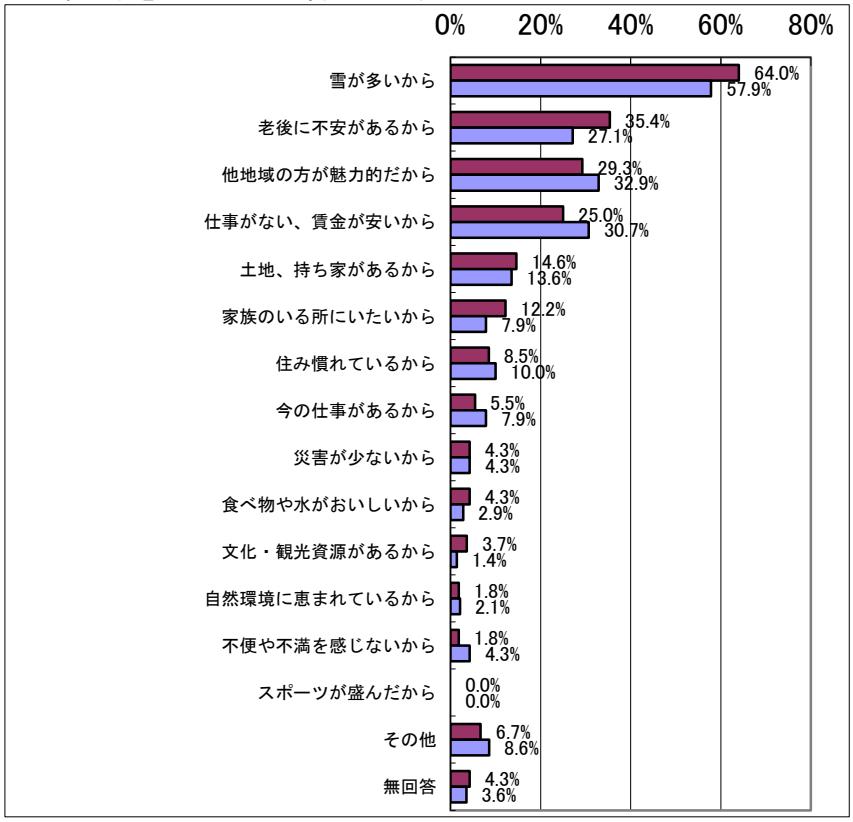
○“やや感じる”と答えた理由



“やや感じる”と回答した理由として、最も割合が高いのは「住み慣れているから」（70.1%）であった。

以下、「土地、持ち家があるから」（47.6%）、「食べ物や水がおいしいから」（40.5%）、「ねぶた祭や温泉などの文化・観光資源があるから」（37.2%）と続いている。

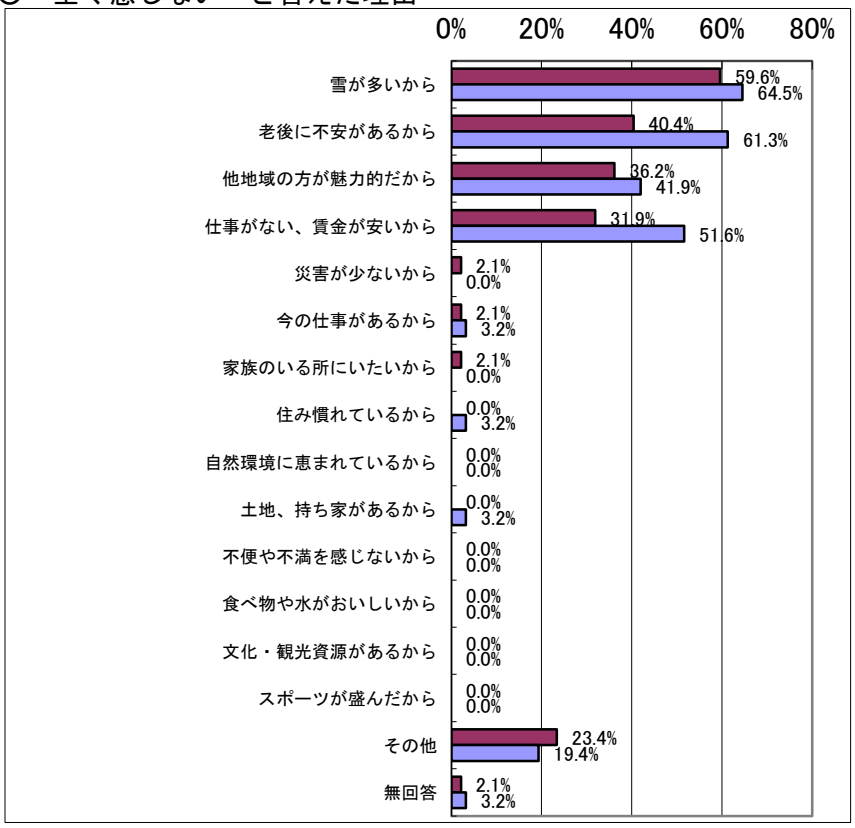
○“あまり感じない”と答えた理由



“あまり感じない”と回答した理由として、最も割合が高いのは「雪が多いから」（64.0%）であった。

以下、「老後に不安があるから」（35.4%）、「他地域の方が魅力的だから」（29.3%）、「仕事がない、賃金が安いから」（25.0%）と続いている。

○“全く感じない”と答えた理由



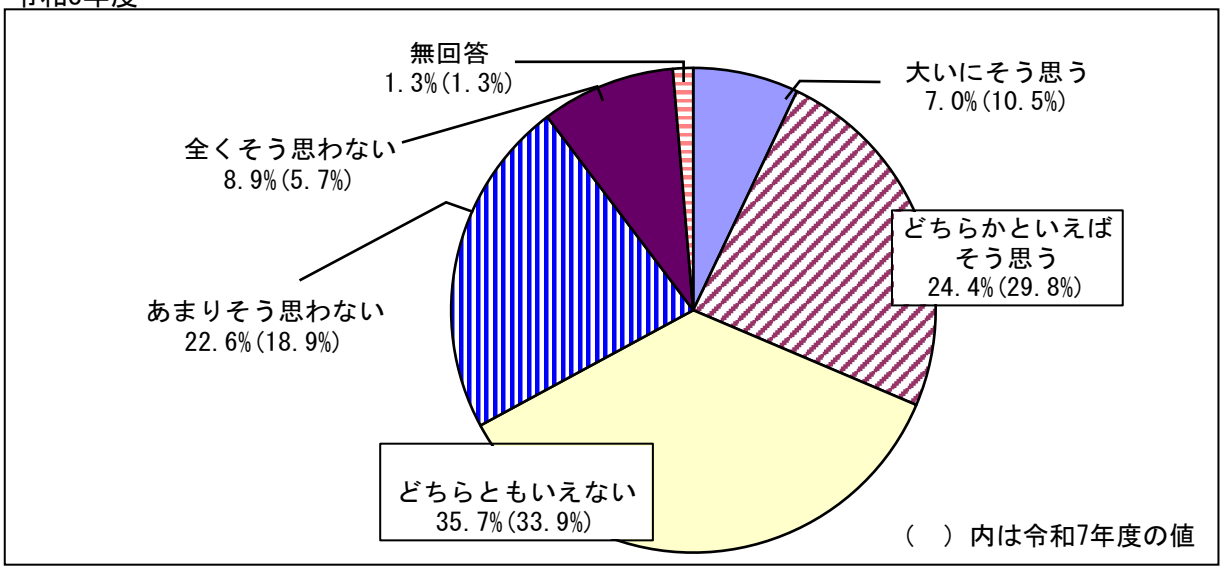
“全く感じない”と回答した理由として、最も割合が高いのは「雪が多いから」（59.6%）であった。

以下、「老後に不安があるから」（40.4%）、「他地域の方が魅力的だから」（36.2%）、「仕事がない、賃金が安いから」（31.9%）と続いている。

【問５】あなたは、知人や家族から「青森市に住みたい」または「戻りたい」と
相談されたら、現在の青森市へ呼び込みたいと思いますか。（○は１つ）

【全体】

令和8年度



7.0%の人が「大いにそう思う」と回答しており、これに「どちらかといえばそう思う」（24.4%）を合わせた“青森市に住んでもらいたいと思う”と回答した人の割合は31.4%となっている。

一方、「全くそう思わない」（8.9%）と「あまりそう思わない」（22.6%）を合わせた“青森市に住んでもらいたいと思わない”と回答した人の割合は31.5%となっている。

	大いにそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
令和6年度						
回答数	151	426	405	222	63	18
構成比	11.8%	33.2%	31.5%	17.3%	4.9%	1.4%
令和7年度						
回答数	138	393	448	249	75	17
構成比	10.5%	29.8%	33.9%	18.9%	5.7%	1.3%
令和8年度						
回答数	99	343	503	318	126	19
構成比	7.0%	24.4%	35.7%	22.6%	8.9%	1.3%

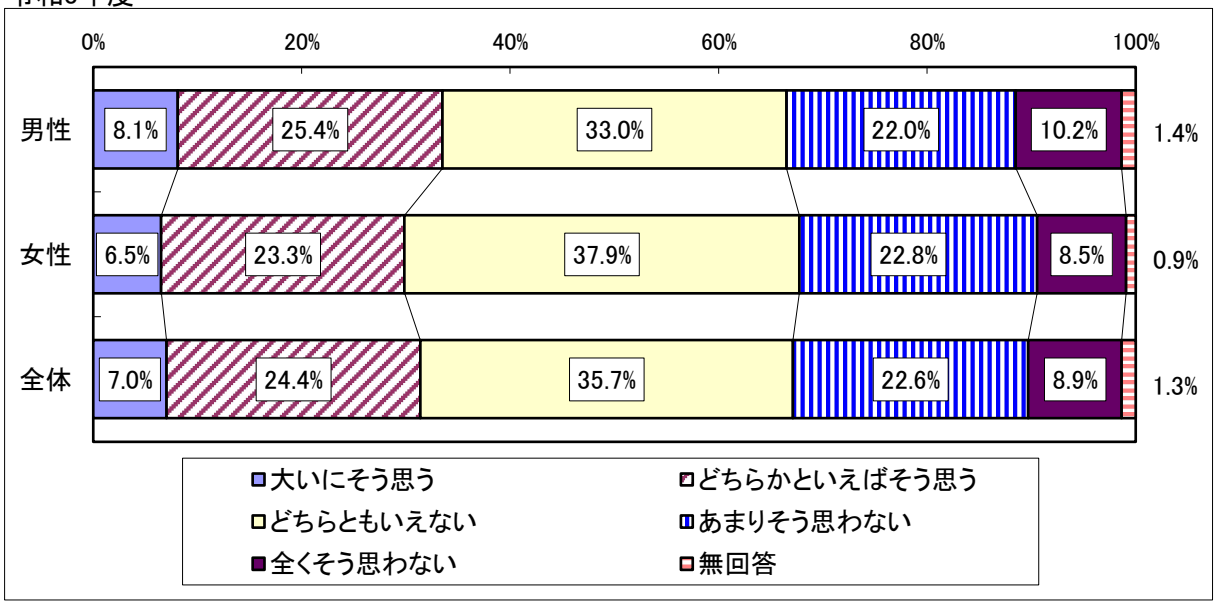
前年度との比較

◆“青森市に住んでもらいたいと思う”と回答した人の割合は、前年度(40.3%)より8.9ポイント減少している。

◆“青森市に住んでもらいたいと思わない”と回答した人の割合は、前年度(24.6%)より6.9ポイント増加している。

【性別】

令和8年度



性別では、「大いにそう思う」と「どちらかといえばそう思う」の回答を合わせた“青森市に住んでもらいたいと思う”と回答した人の割合は、男性（33.5%）が女性（29.8%）を3.7ポイント上回っている。

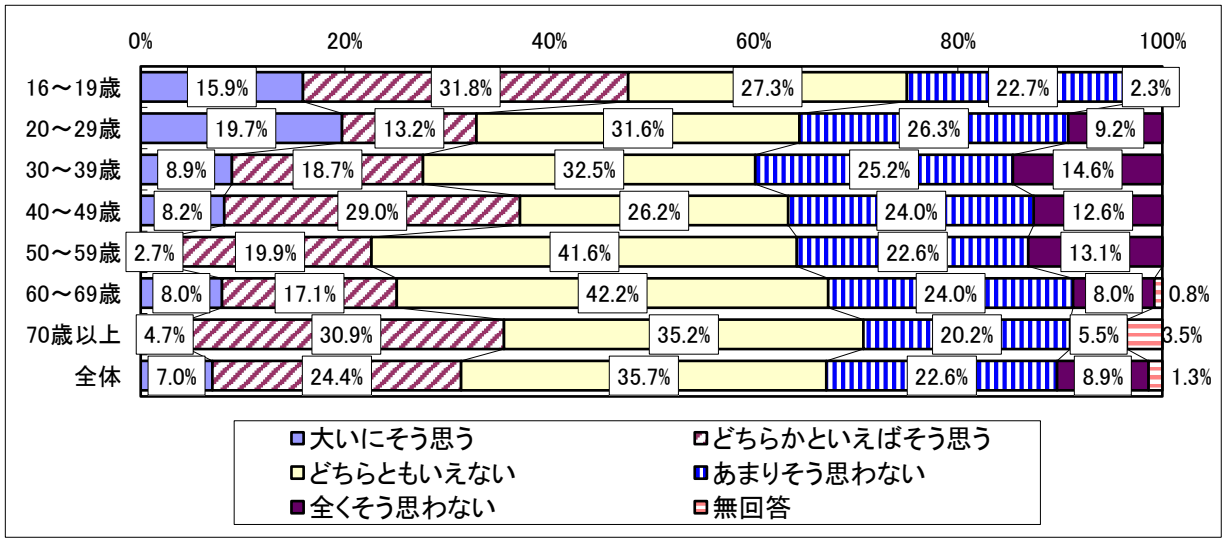
	大いにそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
令和6年度						
男性	11.7%	33.1%	30.0%	19.3%	5.0%	1.0%
女性	11.2%	33.7%	32.5%	16.3%	4.7%	1.6%
令和7年度						
男性	11.0%	27.9%	34.4%	17.3%	8.5%	0.9%
女性	9.9%	32.0%	34.6%	19.1%	3.4%	1.0%
令和8年度						
男性	8.1%	25.4%	33.0%	22.0%	10.2%	1.4%
女性	6.5%	23.3%	37.9%	22.8%	8.5%	0.9%

前年度との比較

◆“青森市に住んでもらいたいと思う”と回答した人の割合は、男性で前年度（38.9%）より5.4ポイント減少、女性で前年度（41.9%）より12.1ポイント減少している。

◆“青森市に住んでもらいたいと思わない”と回答した人の割合は、男性で前年度（25.8%）より6.4ポイント増加、女性で前年度（22.5%）より8.8ポイント増加している。

【年齢層別】
令和8年度



年齢層別では、「大いにそう思う」と答えた人の割合は、20～29歳(19.7%)が最も高く、次いで16～19歳(15.9%)となっている。また、“青森市に住んでもらいたい”と答えた人の割合は、16～19歳(47.7%)が最も高く、次いで40～49歳(37.2%)となっている。

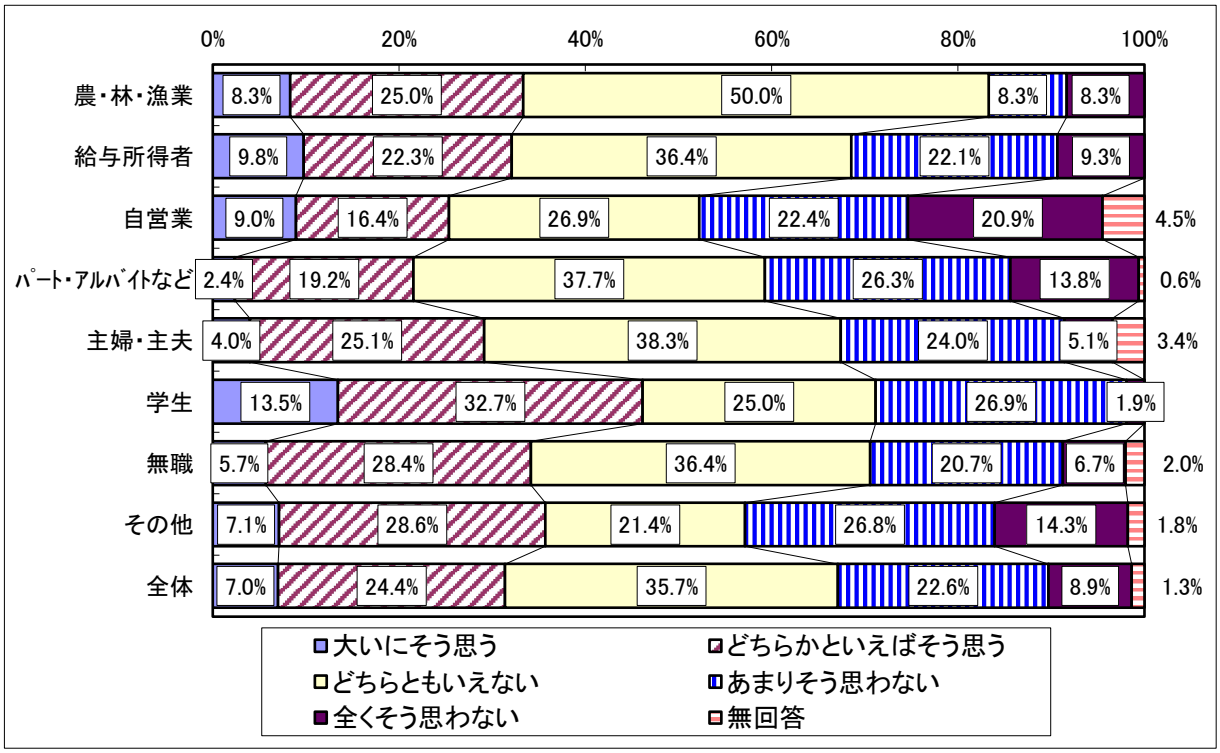
	大いにそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
令和6年度						
16～19歳	12.1%	33.3%	21.2%	27.3%	6.1%	0.0%
20～29歳	18.8%	44.9%	20.3%	11.6%	4.3%	0.0%
30～39歳	10.2%	40.7%	25.9%	13.9%	9.3%	0.0%
40～49歳	17.0%	35.9%	25.5%	13.7%	7.2%	0.7%
50～59歳	7.7%	34.1%	31.3%	20.3%	6.0%	0.5%
60～69歳	9.4%	26.5%	39.0%	19.9%	4.5%	0.7%
70歳以上	12.7%	32.0%	32.7%	16.6%	2.9%	3.2%
令和7年度						
16～19歳	28.2%	30.8%	28.2%	7.7%	5.1%	0.0%
20～29歳	19.3%	38.6%	21.7%	15.7%	3.6%	1.2%
30～39歳	8.8%	31.9%	33.0%	17.6%	8.8%	0.0%
40～49歳	9.8%	28.0%	27.4%	23.8%	10.4%	0.6%
50～59歳	8.2%	27.3%	34.5%	21.6%	8.2%	0.0%
60～69歳	6.9%	25.8%	40.4%	21.8%	4.4%	0.7%
70歳以上	11.2%	31.7%	35.6%	15.6%	3.7%	2.2%
令和8年度						
16～19歳	15.9%	31.8%	27.3%	22.7%	2.3%	0.0%
20～29歳	19.7%	13.2%	31.6%	26.3%	9.2%	0.0%
30～39歳	8.9%	18.7%	32.5%	25.2%	14.6%	0.0%
40～49歳	8.2%	29.0%	26.2%	24.0%	12.6%	0.0%
50～59歳	2.7%	19.9%	41.6%	22.6%	13.1%	0.0%
60～69歳	8.0%	17.1%	42.2%	24.0%	8.0%	0.8%
70歳以上	4.7%	30.9%	35.2%	20.2%	5.5%	3.5%

前年度との比較

◆“青森市に住んでもらいたいと思う”と回答した人の割合は、全ての年齢層で前年度より減少しており、20歳～29歳の年齢層で前年度(57.9%）より25.0ポイント減少している。

◆“青森市に住んでもらいたいと思わない”と回答した人の割合は、全ての年齢層で前年度より増加しており、20歳～29歳の年齢層で前年度(19.3%）より16.2ポイント増加している。

【職業別】
令和8年度



職業別では、「大いにそう思う」と回答した人の割合は、学生（13.5%）が最も高く、次いで給与所得者(9.8%)となっている。また、“青森市に住んでもらいたい”と回答した人の割合は、学生(46.2%)が最も高く、次いでその他(35.7%)となっている。

	大いにそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
令和6年度						
農・林・漁業	8.3%	16.7%	50.0%	16.7%	8.3%	0.0%
給与所得者	12.6%	40.0%	25.8%	17.1%	4.2%	0.3%
自営業	16.4%	23.3%	32.9%	21.9%	5.5%	0.0%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	8.8%	32.2%	32.7%	17.5%	7.6%	1.2%
主婦・主夫	11.7%	34.0%	30.2%	17.9%	3.1%	3.1%
学生	15.0%	42.5%	20.0%	17.5%	5.0%	0.0%
無職	11.1%	30.4%	35.2%	16.3%	4.6%	2.4%
その他	12.0%	18.0%	46.0%	16.0%	6.0%	2.0%
令和7年度						
農・林・漁業	0.0%	30.0%	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%
給与所得者	10.6%	30.9%	31.2%	20.1%	6.9%	0.2%
自営業	8.8%	19.3%	38.6%	21.1%	8.8%	3.5%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	8.2%	36.1%	33.5%	18.4%	3.8%	0.0%
主婦・主夫	6.5%	28.2%	36.5%	24.7%	3.5%	0.6%
学生	22.2%	37.0%	24.1%	13.0%	3.7%	0.0%
無職	11.7%	28.2%	36.9%	15.6%	5.3%	2.2%
その他	11.9%	27.1%	32.2%	13.6%	11.9%	3.4%

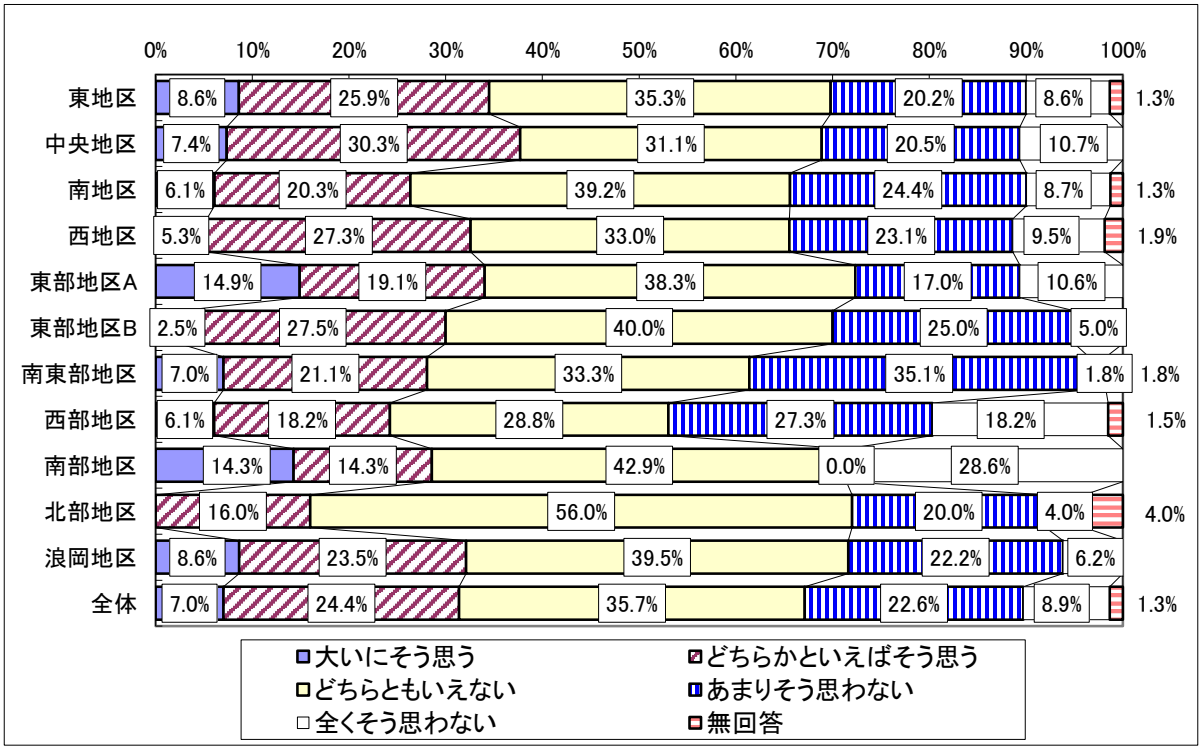
令和8年度	大いにそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
農・林・漁業	8.3%	25.0%	50.0%	8.3%	8.3%	0.0%
給与所得者	9.8%	22.3%	36.4%	22.1%	9.3%	0.0%
自営業	9.0%	16.4%	26.9%	22.4%	20.9%	4.5%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄなど	2.4%	19.2%	37.7%	26.3%	13.8%	0.6%
主婦・主夫	4.0%	25.1%	38.3%	24.0%	5.1%	3.4%
学生	13.5%	32.7%	25.0%	26.9%	1.9%	0.0%
無職	5.7%	28.4%	36.4%	20.7%	6.7%	2.0%
その他	7.1%	28.6%	21.4%	26.8%	14.3%	1.8%

前年度との比較

◆“青森市に住んでもらいたいと思う”と回答した人の割合は、農・林・漁業の職業区分で前年度（30.0%）より3.3ポイント増加したが、パート・アルバイトなどの職業区分で前年度（44.3%）より22.7ポイント減少している。

◆“青森市に住んでもらいたいと思わない”と回答した人の割合は、農・林・漁業の職業区分で前年度（40.0%）より23.4ポイント減少したが、パート・アルバイトなどの職業区分で前年度(22.2%）より17.9ポイント増加している。

【居住地区別】
令和8年度



居住地区別では、「大いにそう思う」と答えた人の割合は、東部地区A（14.9%）が最も高く、次いで南部地区（14.3%）となっている。また、“青森市に住んでもらいたい”と答えた人の割合は、中央地区（37.7%）が最も高く、次いで東地区（34.5%）となっている。

	大いにそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
令和6年度						
東地区	14.8%	31.8%	29.5%	19.6%	3.4%	0.9%
中央地区	8.5%	36.8%	34.0%	14.2%	6.6%	0.0%
南地区	10.8%	31.6%	34.9%	17.8%	3.7%	1.1%
西地区	10.6%	32.7%	30.6%	17.1%	6.5%	2.4%
東部地区A	9.1%	36.4%	38.6%	9.1%	4.5%	2.3%
東部地区B	10.8%	29.7%	37.8%	13.5%	5.4%	2.7%
南東部地区	17.6%	43.1%	19.6%	13.7%	5.9%	0.0%
西部地区	6.0%	29.9%	35.8%	20.9%	4.5%	3.0%
南部地区	4.3%	34.8%	21.7%	26.1%	8.7%	4.3%
北部地区	15.0%	20.0%	35.0%	15.0%	15.0%	0.0%
浪岡地区	12.3%	42.1%	28.1%	12.3%	5.3%	0.0%
令和7年度						
東地区	10.8%	31.4%	29.9%	21.5%	5.8%	0.6%
中央地区	12.8%	31.2%	38.5%	13.8%	3.7%	0.0%
南地区	12.2%	30.3%	33.4%	16.0%	6.3%	1.7%
西地区	9.8%	28.6%	36.1%	18.4%	6.0%	1.1%
東部地区A	11.8%	20.6%	23.5%	35.3%	8.8%	0.0%
東部地区B	11.9%	21.4%	42.9%	19.0%	2.4%	2.4%
南東部地区	9.4%	35.8%	41.5%	11.3%	1.9%	0.0%
西部地区	4.8%	28.6%	36.5%	20.6%	7.9%	1.6%
南部地区	4.5%	27.3%	36.4%	27.3%	4.5%	0.0%
北部地区	10.5%	21.1%	52.6%	10.5%	5.3%	0.0%
浪岡地区	3.1%	32.3%	32.3%	23.1%	6.2%	3.1%

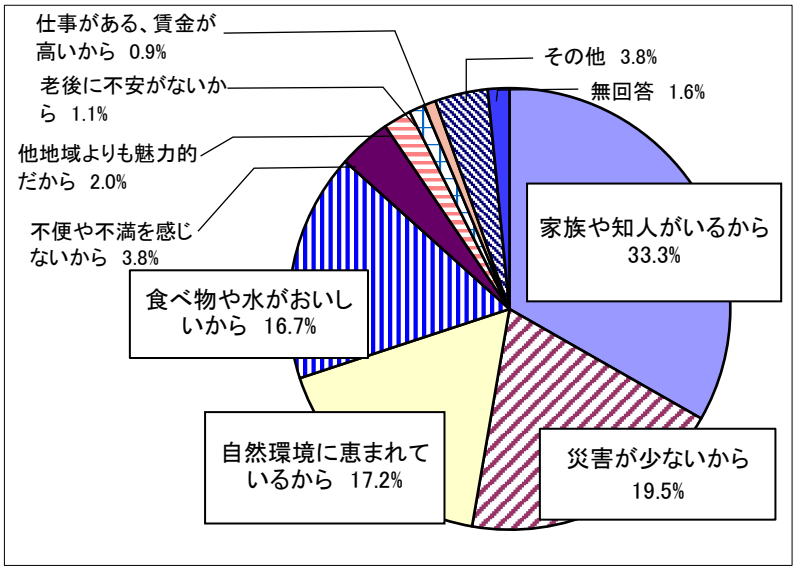
令和8年度	大いにそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
東地区	8.6%	25.9%	35.3%	20.2%	8.6%	1.3%
中央地区	7.4%	30.3%	31.1%	20.5%	10.7%	0.0%
南地区	6.1%	20.3%	39.2%	24.4%	8.7%	1.3%
西地区	5.3%	27.3%	33.0%	23.1%	9.5%	1.9%
東部地区A	14.9%	19.1%	38.3%	17.0%	10.6%	0.0%
東部地区B	2.5%	27.5%	40.0%	25.0%	5.0%	0.0%
南東部地区	7.0%	21.1%	33.3%	35.1%	1.8%	1.8%
西部地区	6.1%	18.2%	28.8%	27.3%	18.2%	1.5%
南部地区	14.3%	14.3%	42.9%	0.0%	28.6%	0.0%
北部地区	0.0%	16.0%	56.0%	20.0%	4.0%	4.0%
浪岡地区	8.6%	23.5%	39.5%	22.2%	6.2%	0.0%

前年度との比較

◆“青森市に住んでもらいたいと思う”と回答した人の割合は、東部地区Aで前年度（32.4%）より1.6ポイント増加したが、南東部地区で前年度（45.2%）より17.1ポイント減少している。

◆“青森市に住んでもらいたいと思わない”と回答した人の割合は、東部地区Aで前年度（44.1%）より16.5ポイント減少したが、南東部地区で前年度（13.2%）より23.7ポイント増加している。

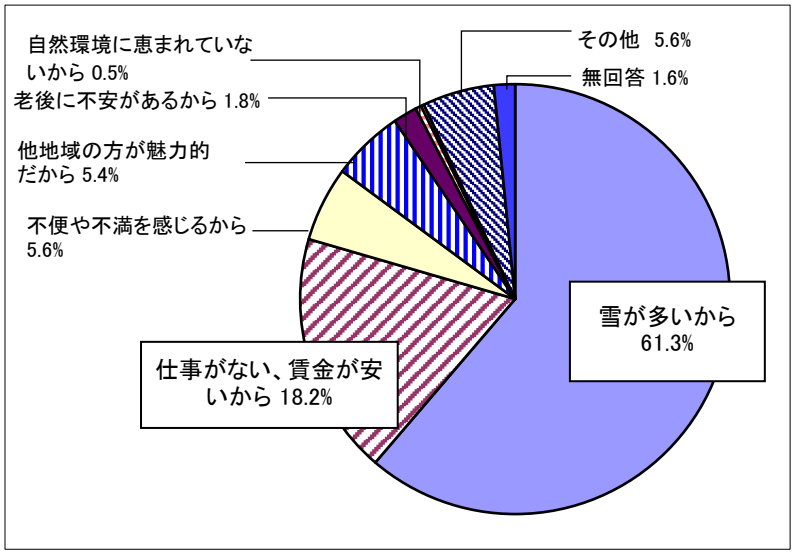
【問５－①】問５で“大いにそう思う”、“どちらかといえばそう思う”と答えた理由として、もっとも近いものを**１つ選び**○をつけてください。



“大いにそう思う”、“どちらかといえばそう思う”と回答した人のうち33.3%の人が「家族や知人がいるから」という理由であった。

以下、「災害が少ないから」（19.5%）、「自然環境に恵まれているから」（17.2%）、「食べ物や水がおいしいから」（16.7%）、などが続き、上位4項目で全体の85%を超えている。

【問５－②】問５で“あまりそう思わない”、“全くそう思わない”と答えた理由として、もっとも近いものを**１つ選び**○をつけてください。



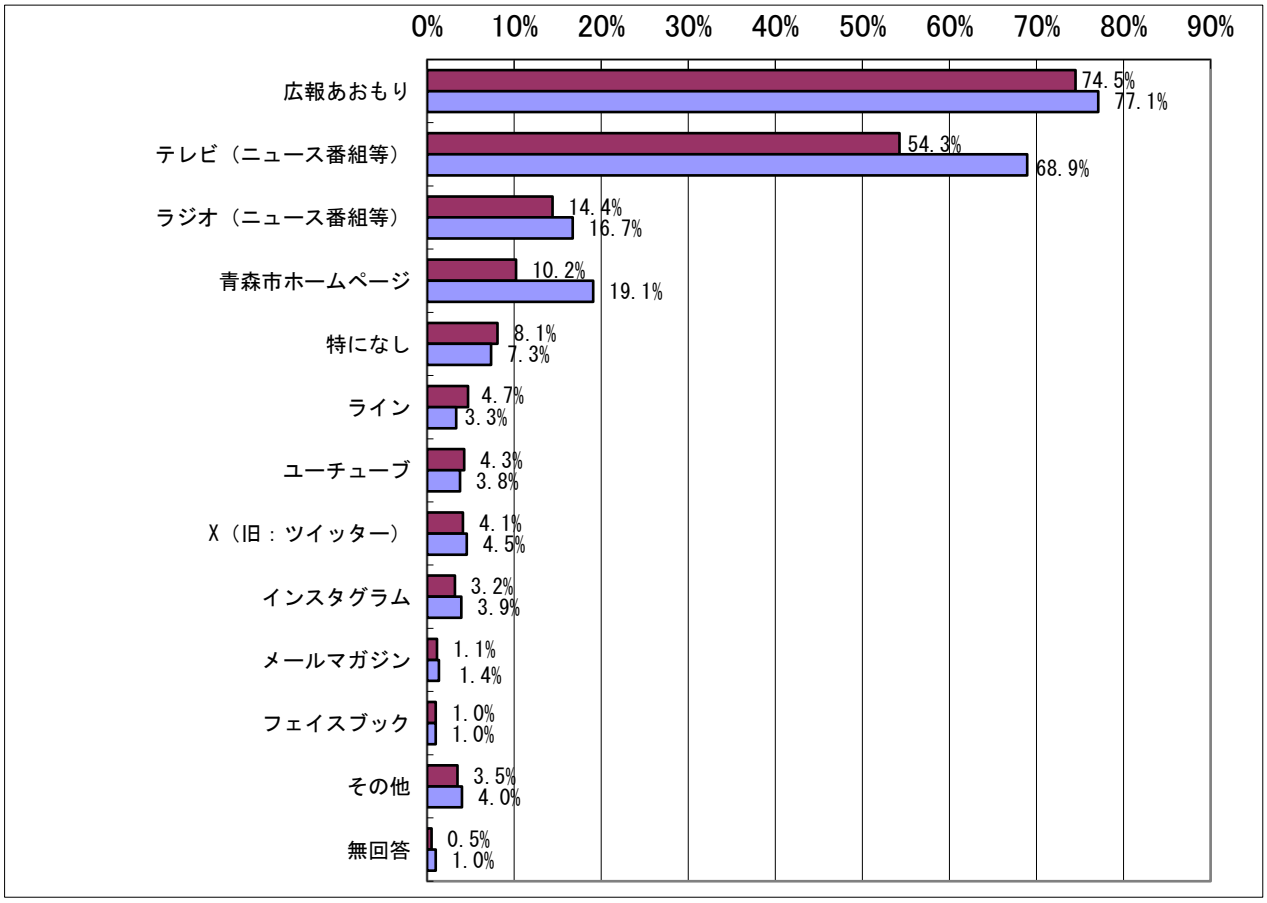
“あまりそう思わない”、“全くそう思わない”と回答した人のうち61.3%の人が「雪が多いから」という理由であった。

以下、「仕事がない、賃金が安いから」（18.2%）、「不便や不満を感じるから」（5.6%）、「他地域の方が魅力的だから」（5.4%）などが続き、上位4項目で全体の90%となっている。

３　市政情報の入手方法

【問６】あなたは、青森市の市政情報をどこから得ていますか。該当するものを**すべて選び**
〇をつけてください。

【全体】　＜上段：令和8年度、下段：令和7年度＞



青森市の市政情報をどこから得ているかという設問において、最も割合が高いのは「広報あおもり」(74.5%)であった。以下、「テレビ（ニュース番組等）」(54.3%)、「ラジオ（ニュース番組等）」(14.4%)、「青森市ホームページ」(10.2%)と続いている。

【性別】

令和8年度　　(%)

No.	項　　目	男性	女性
1	広報あおもり	① 70.6	① 76.8
2	青森市ホームページ	⑤ 11.2	④ 9.1
3	メールマガジン	1.5	0.9
4	インスタグラム	3.4	3.3
5	フェイスブック	1.7	0.4
6	X（旧：ツイッター）	4.2	4.4
7	ユーチューブ	5.1	3.5
8	ライン	4.9	4.8
9	テレビ（ニュース番組等）	② 49.7	② 55.6
10	ラジオ（ニュース番組等）	③ 15.7	③ 13.1
11	特になし	④ 11.5	⑤ 6.1
12	その他	3.2	3.1

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

男女ともに上位5項目は、同じ項目が選ばれている。最も割合が高いのは「広報あおもり」で、次いで「テレビ（ニュース番組等）」となっている。

【年齢層別】

令和8年度　　(%)

No.	項　　目	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	広報あおもり	② 20.5	② 27.6	① 51.2	① 67.8	① 75.6	① 86.3	① 88.1
2	青森市ホームページ	④ 13.6	6.6	⑤ 10.6	④ 7.7	③ 9.0	③ 16.0	④ 8.6
3	メールマガジン	0.0	1.3	0.8	1.6	1.4	2.3	0.4
4	インスタグラム	⑤ 9.1	⑤ 10.5	4.9	6.0	2.7	2.7	0.6
5	フェイスブック	0.0	0.0	0.8	2.2	1.8	1.5	0.2
6	X（旧：ツイッター）	6.8	④ 11.8	④ 11.4	⑤ 7.1	5.0	3.0	0.0
7	ユーチューブ	2.3	5.3	2.4	4.9	6.3	⑤ 6.1	2.7
8	ライン	4.5	2.6	9.8	3.3	5.4	⑤ 6.1	3.3
9	テレビ（ニュース番組等）	① 45.5	③ 23.7	② 28.5	② 37.2	② 31.7	② 63.5	② 77.5
10	ラジオ（ニュース番組等）	4.5	3.9	5.7	⑤ 7.1	③ 9.0	④ 14.4	③ 24.1
11	特になし	② 20.5	① 34.2	③ 16.3	③ 9.8	③ 9.0	2.3	3.1
12	その他	2.3	0.0	2.4	1.6	1.4	3.8	⑤ 5.7

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

「広報あおもり」、「テレビ（ニュース番組等）」が全ての年齢層において、上位5項目に入っている。

16～19歳の各年齢層では「テレビ（ニュース番組等）」、20～29歳の年齢層では「特になし」が最も高く、その他の各年齢層では「広報あおもり」が最も高くなっている。

【職業別】

令和8年度　　(%)

No.	項　　目	農・林・漁業	給与所得者	自営業	パート・アルバイトなど	主婦・主夫	学生	無職	その他
1	広報あおもり	① 83.3	① 64.2	① 76.1	① 77.8	① 89.7	③ 19.2	① 85.8	① 66.1
2	青森市ホームページ	④ 8.3	④ 9.8	④ 13.4	④ 11.4	④ 8.6	⑤ 9.6	④ 9.7	④ 10.7
3	メールマガジン	0.0	1.7	3.0	1.2	0.6	0.0	0.5	1.8
4	インスタグラム	④ 8.3	5.9	0.0	2.4	0.6	④ 11.5	1.2	1.8
5	フェイスブック	0.0	2.2	1.5	0.0	0.0	0.0	0.2	3.6
6	X（旧：ツイッター）	④ 8.3	6.9	1.5	3.6	4.6	7.7	0.7	⑤ 5.4
7	ユーチューブ	④ 8.3	5.0	⑤ 6.0	4.8	⑤ 5.7	3.8	2.5	1.8
8	ライン	④ 8.3	6.1	⑤ 3.0	6.6	⑤ 4.6	3.8	3.2	1.8
9	テレビ（ニュース番組等）	② 66.7	② 37.5	② 52.2	② 49.7	② 73.1	① 44.2	② 69.6	② 37.5
10	ラジオ（ニュース番組等）	③ 58.3	⑤ 7.8	③ 16.4	③ 14.4	③ 21.7	3.8	③ 20.0	1.8
11	特になし	0.0	③ 11.9	⑤ 6.0	5.4	1.1	② 26.9	⑤ 5.0	③ 16.1
12	その他	④ 8.3	1.7	⑤ 6.0	3.6	⑤ 5.7	1.9	4.2	1.8

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

「広報あおもり」、「青森市ホームページ」「テレビ（ニュース番組等）」が全ての職業区分において、上位5項目に入っている。

学生の職業区分では「テレビ（ニュース番組等）」が最も高く、それ以外の職業区分では「広報あおもり」が最も高くなっている。

【居住地区別】

令和8年度　　(%)

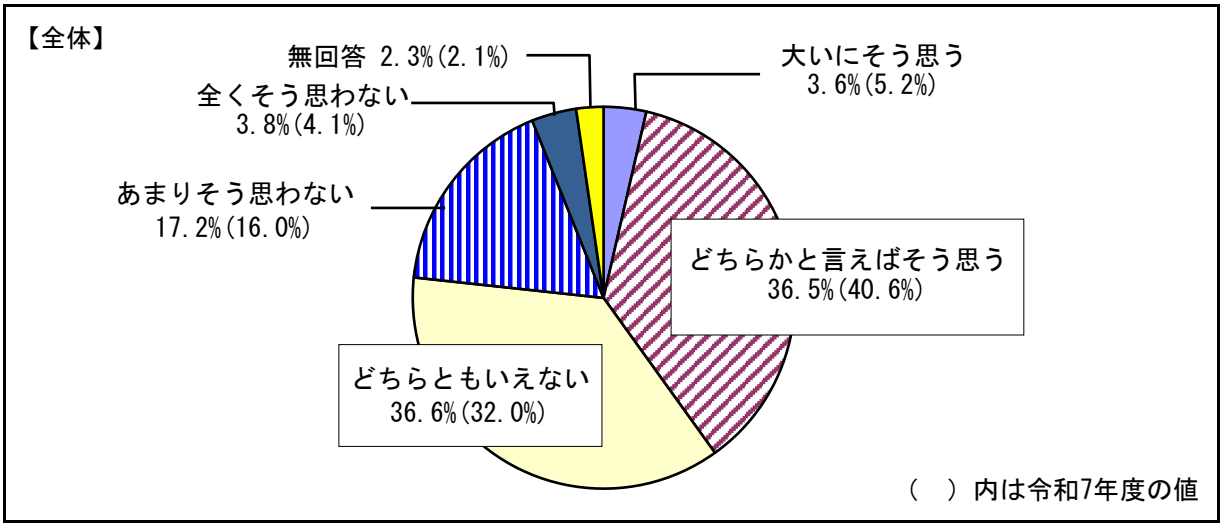
No.	項　　目	東	中央	南	西	東部A	東部B	南東部	西部	南部	北部	浪岡
1	広報あおもり	① 75.5	① 82.0	① 74.6	① 73.5	① 72.3	① 82.5	① 73.7	① 71.2	② 57.1	② 56.0	① 69.1
2	青森市ホームページ	⑤ 8.6	④ 9.0	⑤ 9.3	④ 10.6	③ 17.0	④ 10.0	④ 10.5	④ 13.6	④ 14.3	③ 20.0	④ 9.9
3	メールマガジン	0.5	0.0	2.3	1.5	4.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
4	インスタグラム	3.5	0.8	2.3	3.4	④ 8.5	5.0	3.5	0.0	0.0	0.0	7.4
5	フェイスブック	1.9	0.0	1.3	0.8	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0
6	X（旧：ツイッター）	2.4	2.5	5.5	5.3	⑤ 6.4	5.0	5.3	4.5	0.0	4.0	2.5
7	ユーチューブ	3.0	⑤ 6.6	4.5	⑤ 6.4	⑤ 6.4	0.0	5.3	3.0	0.0	0.0	2.5
8	ライン	6.5	1.6	4.8	3.4	4.3	⑤ 7.5	5.3	3.0	0.0	4.0	6.2
9	テレビ（ニュース番組等）	② 52.3	② 53.3	② 52.7	② 56.4	② 42.6	② 55.0	② 50.9	② 53.0	① 85.7	① 80.0	② 61.7
10	ラジオ（ニュース番組等）	③ 17.8	③ 14.8	③ 11.6	③ 12.5	⑤ 6.4	③ 20.0	③ 12.3	③ 19.7	③ 28.6	④ 16.0	③ 13.6
11	特になし	④ 9.7	4.9	④ 10.0	⑤ 6.4	⑤ 6.4	2.5	⑤ 8.8	⑤ 9.1	0.0	⑤ 8.0	⑤ 8.6
12	その他	4.6	3.3	4.5	1.9	0.0	⑤ 7.5	1.8	3.0	0.0	0.0	2.5

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

「広報あおもり」、「青森市ホームページ」、「テレビ（ニュース番組等）」、「ラジオ（ニュース番組等）」が全ての居住地区分において、上位5項目に入っている。

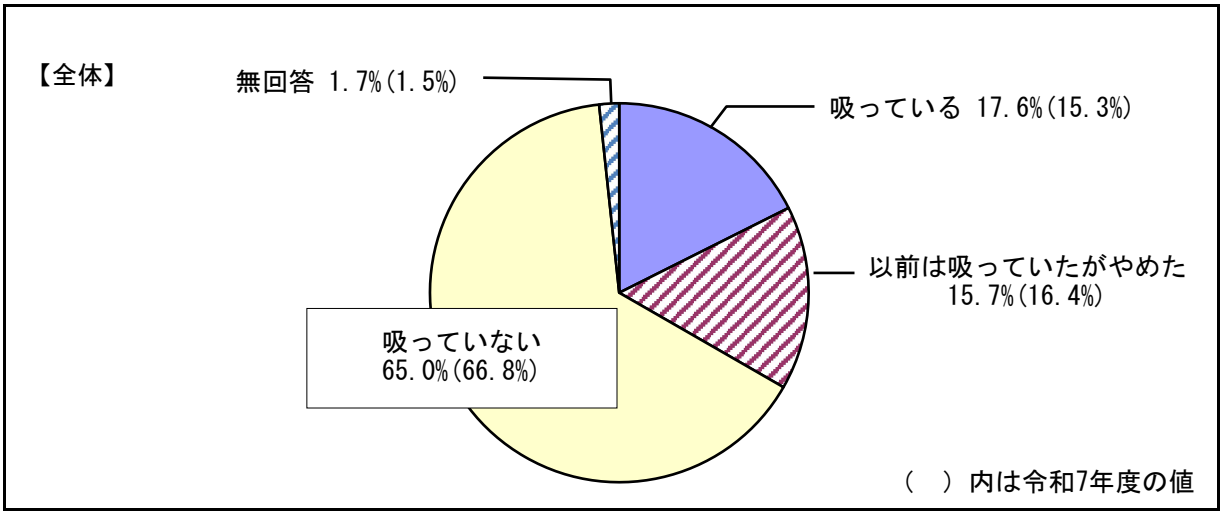
4　令和8年度　青森市の主な取組について

【問７】
あなたは、青森市は子育てしやすい街だと思いますか。（○は１つ）



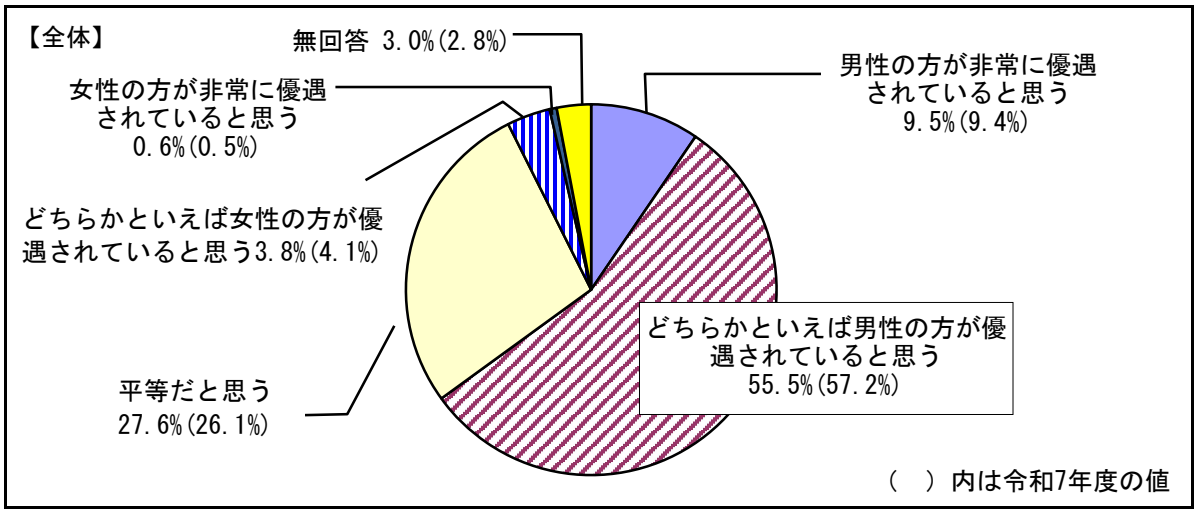
青森市は子育てしやすい街だと思うかについては、「どちらかといえばそう思う」の割合が36.5%と最も高く、「大いにそう思う」の割合（3.6%）を合わせた“子育てしやすい街だと思う人”の割合は40.1%となっており、前年度（45.8%）と比較して5.7ポイント減少している。
「あまりそう思わない」の割合（17.2%）と「全くそう思わない」の割合（3.8%）を合わせた“子育てしやすい街だと思わない人”の割合は21.0%となっており、前年度（20.1%）と比較して0.9ポイント減少している。

【問８】
あなたは現在、習慣的にたばこを吸っていますか。（○は１つ）



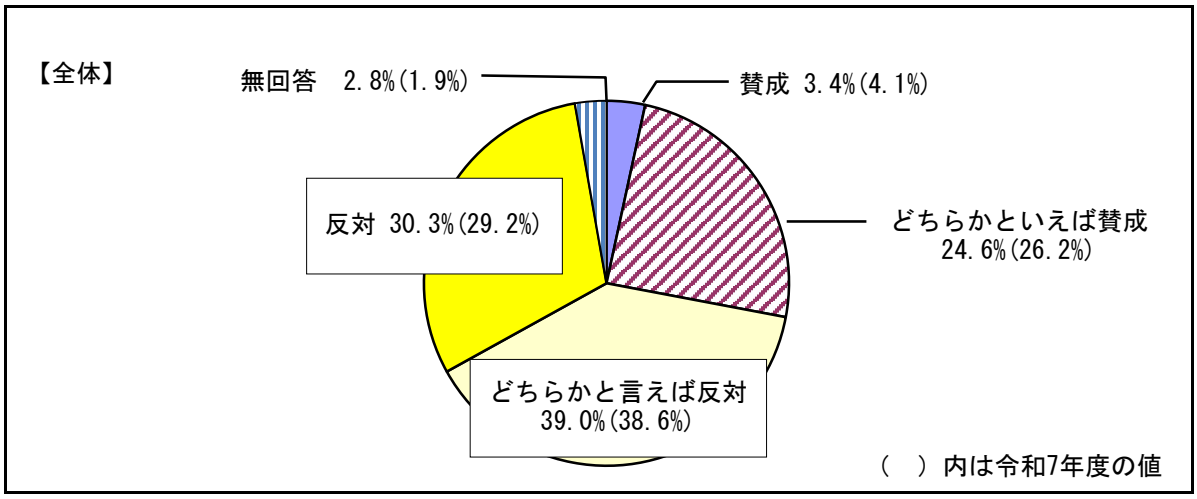
現在、習慣的にたばこを吸っているかについては、「吸っていない」の割合が65.0%と最も高く、「以前は吸っていたがやめた」（15.7%）と合わせた“現在吸っていない人”の割合は80.7%となっており、前年度（83.2%）と比較して2.5ポイント減少している。

【問９】
あなたは、青森市において、男女の地位は平等になっていると思いますか。（○は１つ）



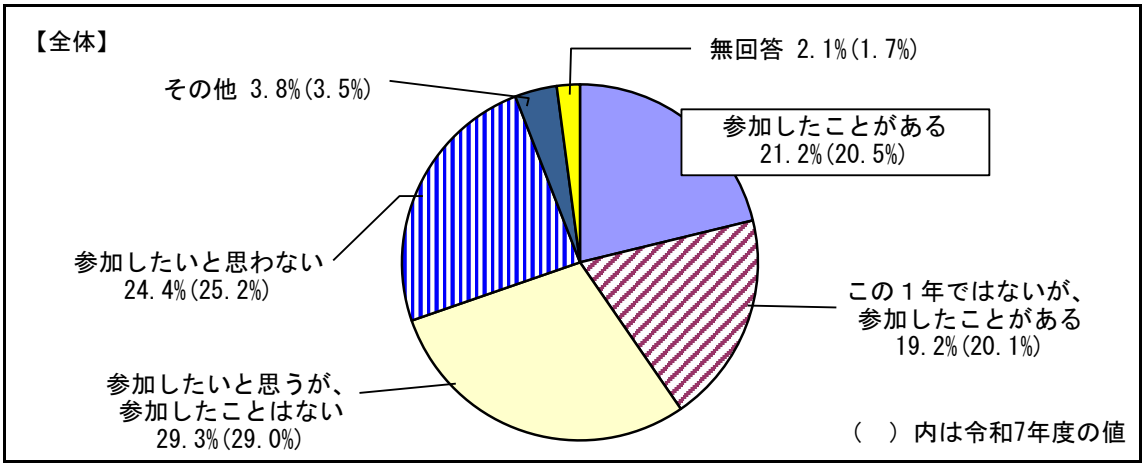
青森市において、男女の地位は平等になっていると思うかについては、「どちらかといえば男性の方が優遇されていると思う」の割合が55.5%と最も高く、「男性の方が非常に優遇されていると思う」の割合（9.5%）を合わせた“男性の方が優遇されていると思う人”の割合は65.0%となっており、前年度（66.6%）と比較して1.6ポイント減少している。
「どちらかといえば女性の方が優遇されていると思う」の割合（3.8%）と「女性の方が非常に優遇されていると思う」の割合（0.6%）を合わせた“女性の方が優遇されていると思う人”の割合は4.4%となっており、前年度(4.6%)と比較して0.2ポイント減少している。

【問１０】
あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どう思いますか。（○は1つ）



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「どちらかといえば反対」の割合が39.0%と最も高く、「反対」の割合（30.3%）を合わせた“反対だと思う人”の割合は69.3%となっており、前年度(67.8%)と比較して1.5ポイント増加している。
「どちらかといえば賛成」の割合（24.6%）と「賛成」の割合（3.4%）を合わせた“賛成だと思う人”の割合は28.0%となっており、前年度(30.3%)と比較して2.3ポイント減少している。

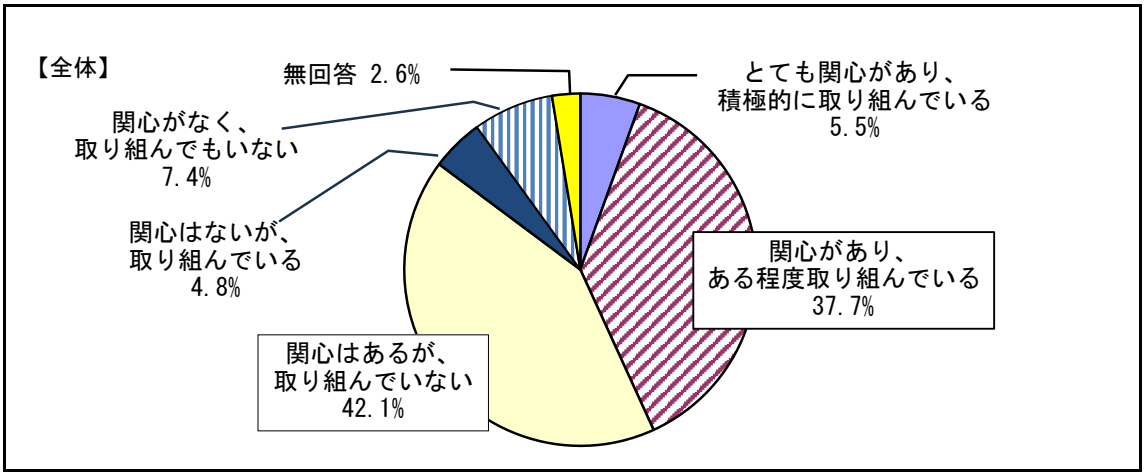
【問１１】
あなたは、この１年間に、道路の草取り・清掃や側溝の泥上げ、また公園の草取り・清掃や花植えなど、公共インフラの維持管理活動に参加したことがありますか。（○は１つ）



公共インフラの維持管理活動への参加については、「参加したいと思うが、参加したことはない」の割合が29.3%と最も高くなっており、前年度(29.0%)と比較して0.3ポイント増加している。

「参加したことがある」の割合(21.2%)と「この1年ではないが、参加したことがある」の割合(19.2%)と合わせた“公共インフラの維持管理活動に参加したことがある人”の割合は40.4%となっており、前年度　(40.6%)と比較して0.2ポイント減少している。

【問１２】
あなたは、地球温暖化について関心がありますか。（○は1つ）

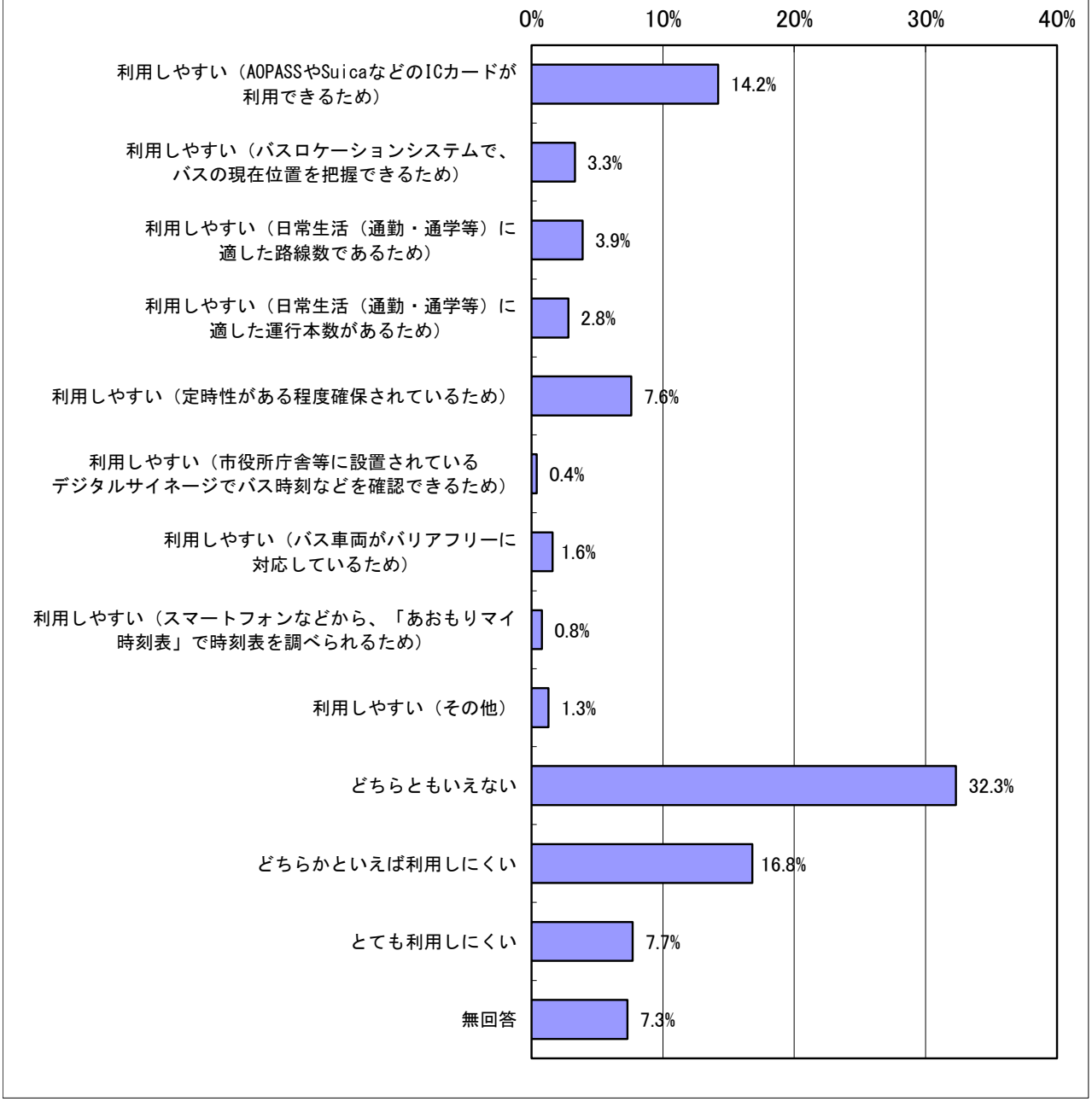


地球温暖化への関心については、「関心はあるが、取り組んでいない」の割合が42.1%と最も高く、「とても関心があり、積極的に取り組んでいる」の割合（5.5%）と「関心があり、ある程度取り組んでいる」の割合(37.7%)を合わせた“関心がある人”の割合は85.3%となっている。

「とても関心があり、積極的に取り組んでいる」の割合（5.5%）と「関心があり、ある程度取り組んでいる」の割合(37.7%)、「関心はないが、取り組んでいる」の割合（4.8%）とを合わせた“取り組んでいる人”の割合は48.0%となっている。

【問13】
あなたにとって、路線バス（青森市営バス、市バス、ねぶたん号）は利用しやすいですか。（○は1つ）

【全体】



路線バス（青森市営バス、市バス、ねぶたん号）は利用しやすいかについて、「利用しやすい」（35.9%）、「どちらともいえない」（32.3%）、「利用しにくい」（24.5%）となっている。

「利用しやすい」と回答された中で最も割合の高い理由は「AOPASSやSuicaなどのICカードが利用できるため」（14.2%）であった。以下、「定時性がある程度確保されているため」（7.6%）「日常生活（通勤・通学等）に適した路線数であるため」（3.9%）「バスロケーションシステムで、バスの現在位置を把握できるため」（3.3%）と続いている。

５　市政に対するご意見・ご提案

【問１４】
その他、市政について、ご意見・ご提案がありましたら、自由にお書きください。

いただいたご意見・ご提案について、各年齢層からのご意見・ご提案を掲載しています。

・浪岡にも力をいれてほしい。【男性、16歳～19歳】

・新青森駅付近もっと発展させてほしいです。他県などからの観光者も新幹線で来て、新青森駅付近に何もないとがっかりしてしまいます。駅ビルが1つあるだけでも全然違うと思います。また、冬季期間の除排雪をさらに充実させてほしいです。今年は家の前の道が中々除雪が入らなく、何台もの車が埋まってしまい移動が本当に大変でした。車での帰宅時に除雪車が居てその道が通れないということがよくあったため、何日の何時にこの地域に除雪車が来るという予告を明確に提示してほしいです。【男性、20歳～29歳】

・熊対策をしてほしい。熊出没のせいで、子どもが外で遊ぶのが不安です。
【男性、30歳～39歳】

・地域防災力の向上が重要と考える。そのためには、自主防災組織の活動がより活発になる仕組みづくりが必要ではないか。具体的には、市内の自主防災組織が集まり、各地域でどのような取り組みを行っているのかを共有する報告会を開催することも一つの方法と考える。他の組織の工夫や課題を学ぶことで、自分たちの活動の改善点が見つかり、取り組みの幅が広がる。こうした継続的な学び合いが進めば、地域全体の防災力向上につながるだろう。【男性、40歳～49歳】

・市街地が広すぎる。もう一度コンパクトシティみたいな考えを推敲するべきだと思う。自分は10年位仙台にいた経験から、県の協力も必要だが青い森鉄道の生活路線化は推進するべきだと思う。【男性、50～59歳】

・除雪に関して、今年は特別だと思いますが、あまりにもひどかった。バスもあまり使用しませんが、運行便数が少なく、目的に行くまでの時間がかかるので、タクシーで行くしかないが、タクシーもちょっと時間がかかる。バスの利便性はもう少し良くしてほしい。
【男性、60～69歳】

・旧棟方志功記念館が、今後どのように使用されるにしても、庭園も維持管理し続けてほしい。また、棟方志功が、鎌倉にいた時に愛したという石塔、棟方志功の胸像を制作した高田博厚が制作した「海」という像も維持管理し続けてほしい。もしこれらも県立美術館に移管されているのなら、そのことをPRしてほしい。【男性、70歳以上】

・去年、大雪の影響で学校が何日も休校になり、大学受験に臨む先輩方が本当に大変そうだったので、今年はそうならないように除雪制度の見直しを進めてほしいです。【女性、16歳～19歳】

・今の世の中、子育て世帯への支援が注目されていますが、それと同時に、若者が「県内で働き、地元に住み続けたい」と思えるような街づくりにも力を入れていただきたいです。子育て支援だけでなく、若者の定着につながる雇用環境や生活環境の整備が、将来的な人口減少対策にも重要だと感じています。【女性、20歳～29歳】

・妊婦健診を含む出産に係る費用や、こども医療費助成があることはもっと知られてもいいと感じる。青森市は大きな犯罪も少なく、車社会ではあるがこどもを連れての電車移動に比べると労力は少なく、思うより子育てしやすい環境であると感じる。ただ、給与面や教育面を含めて総合的に考えると、他県の方が魅力的であると感じてしまう。幼児期から大学までで、金銭面や働き方で子育てで必ず不安を感じる期間が出てくる。全国的な課題ではあるが、率先して解決に向けて動き出す体制を見せてほしい。【女性、30歳～39歳】

・とにかく冬の除雪をきちんと行っていただきたいです。特に今季の冬は職場と家の往復が精一杯で出かける気にもなれませんでしたし、通勤中は本当に生きた心地がしなかったです。雪に対する施策が整っていれば青森市はもっと誇れる場所になると思います。【女性、40歳～49歳】

・バスの運転手不足や高齢化が進み、今は自分が運転できるからよいけど、この先免許返納したらどうなるかとても不安です。郊外線は区間が長く、直通運転や途中のハブステーション構築などで乗り換えがスムーズになるように、青い森鉄道と連携し交通の弁がよくなるといいなと思います。【女性、50～59歳】

・青森市は、雪が急に降り積もる年が続いている、毎年の事のため、対策を講じてほしい。生活道路の除排雪がうまく進めば、農作物や水産物が豊富なため、住みやすいとは思う。だが雪のせいで光熱費が高く、青森は住むのにお金がかかる所だといつも思う。また、公共の子ども用施設が少ない。天気に左右されない、屋根つきの施設が増えればいいと思う。【女性、60歳～69歳】

・雪の為に通勤、通院、買い物すべての日常生活ができなくなった。命に関わることもあり、冬季の生活を正常に送れるよう市に強く望みます。私達市民がやるべきことがあれば協力したい。早めに分かりやすく市民に示してほしい。【女性、70歳以上】

・町会費の集金、ごみ箱の清掃等杖をついた高齢者がやっています。順番だからと言って放置していいものか。町会のあり方を考える時期ではないでしょうか。【性別不明、60歳～69歳】

・クルーズ船の寄港、インバウンド旅行客の増加がめざましいが、これらの観光客が回遊できるルート、立ち寄り所や公園等をもう少し整備すべきでは。財源問題が絡んでいると思いますが、行政が主導的に手を打ってほしい。【性別、年代不明】

Ⅲ 調査票

「青森市民意識調査」へのご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から青森市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

市では、市民の皆様がまちづくりの各分野や生活の各局面などで、どのように考え、どのように行動しているのかを伺い、今後の施策等を検討する上での基礎資料とすることを目的に青森市民意識調査を実施しています。

この調査は、満 16 歳以上の全市民の中から、全体の性別、年齢、地域の割合に応じて、住民基本台帳（令和 8 年 4 月 1 日現在）から 3,000 人を無作為に選び、調査へのご協力をお願いしております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。**（回答時間：5 分程度）**

なお、調査結果につきましては、青森市ホームページ、市役所各庁舎、各支所・市民センターなどで令和 8 年 11 月頃の公表を予定しております。

令和 8 年 5 月

青森市　企画部　広報広聴課

回答は無記名としており、個人が特定されることはなく、回答をいただいた皆様にご迷惑をおかけすることはございません。調査結果はこの調査の目的以外には利用いたしません。

インターネットでの回答がとても便利です

スマートフォンで回答

パソコンで回答

青森市電子申請・届出システム

https://apply.e-tumo.jp/city-aomori-aomori-u/

電子申請　青森市　検索

インターネットで回答する場合は、次の 5 桁の数字を入力してください。

～ ご回答にあたってのお願い ～

①封筒に記載している**宛名のご本人がご回答ください**。

②調査票でご回答される場合は、ボールペンまたは鉛筆で、直接この調査票にご記入し、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて郵便ポストに投函してください。

③調査票、封筒には、**お名前を記入していただく必要はありません**。

④**インターネットから回答される場合は、調査票を郵送していただく必要はありません。**

回答期間：令和８年５月８日（金）～ 令和８年５月３１日（日）

《お問合せ先》青森市企画部広報広聴課　TEL：017－734－5107

【問1】《全員回答》

あなたご自身について、あてはまるもの、あるいは近いものを選んで○をつけてください。

① 性　　別	1. 男性 2. 女性
② 年　　齢	1. 16歳～19歳 2. 20歳～29歳 3. 30歳～39歳 4. 40歳～49歳 5. 50歳～59歳 6. 60歳～69歳 7. 70歳以上
③ 職　　業	1. 農・林・漁業 2. 給与所得者 3. 自営業 4. パート・アルバイトなど 5. 主婦・主夫 6. 学生 7. 無職 8. その他
④ 青森市での居住年数（旧青森市、旧浪岡町当時も含めて、お答えください。）	1. 5年以内 2. 6～9年 3. 10～19年 4. 20～29年 5. 30～39年 6. 40年以上
⑤ 居 住 形 態	1. 持ち家 2. 民間の借家・アパート 3. 公営住宅 4. 給与住宅（社宅、公舎） 5. 間借、同居、寮など
⑥ お住まいの地域（次のページにある調査地域区分表をご覧のうえ、お答えください。）	1. 東地区 2. 中央地区 3. 南地区 4. 西地区 5. 東部地区A 6. 東部地区B 7. 南東部地区 8. 西部地区 9. 南部地区 10. 北部地区 11. 浪岡地区

調 査 地 域 区 分 表

地区番号	地区名	地区の範囲
1	東地区	岡造道、合浦、桑原（稲葉）、けやき、小柳、栄町、桜川、 自由ヶ丘、田屋敷、茶屋町、佃、造道、筒井、中佃、浪打、 虹ヶ丘、花園、浜館、はまなす、東造道、古館、松森、港町、 南佃、本泉、八重田、矢作、矢田前
2	中央地区	青柳、奥野、勝田、新町、中央、堤町、長島、橋本、古川、 本町、松原、安方
3	南地区	青葉、旭町、浦町、大野、卸町、桂木、金沢、北金沢、久須志、 千富町、第二問屋町、問屋町、浪館、浪館前田、西大野、浜田、 東大野、緑、妙見、安田、八ツ役（矢作）
4	西地区	油川、石江、岡町、沖館、里見、三内、篠田、千刈、富田、 西滝、新田、羽白、三好、柳川
5	東部地区Ａ	浅虫、泉野、後萢、久栗坂、三本木、平新田、滝沢、野内、 原別、馬屋尻、宮田、矢田、八幡林
6	東部地区Ｂ	赤坂、桑原（山崎）、駒込、沢山、諏訪沢、月見野、築木館、 戸崎、戸山、蛍沢
7	南東部地区	牛館、大矢沢、幸畑、合子沢、新町野、田茂木野、野尻、雲谷、 横内、四ツ石
8	西部地区	岩渡、新城、鶴ヶ坂、戸門、孫内
9	南部地区	荒川、上野、大谷、大別内、金浜、小館、高田、入内、野木、 野沢、細越、八ツ役（芦谷、上林）
10	北部地区	飛鳥、後潟、内真部、奥内、小橋、四戸橋、清水、瀬戸子、 西田沢、左堰、前田、六枚橋
11	浪岡地区	相沢、王余魚沢、北中野、吉内、郷山前、五本松、下石川、 下十川、銀、杉沢、高屋敷、樽沢、大釈迦、徳才子、長沼、 浪岡、福田、細野、本郷、増館、女鹿沢、吉野田

【問2】《全員回答》

あなたにとって、青森市は住みやすい市ですか。（○は1つ）

1. とても住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい → 問2－①へお進みください
3. どちらともいえない → 問3 へお進みください
4. どちらかといえば住みにくい
5. とても住みにくい → 問2－②へお進みください

【問2－①】《問2で「1. とても住みやすい」もしくは「2. どちらかといえば住みやすい」と回答したかたのみ回答》

どのような点で住みやすいか**3つまで選び**○をつけてください。

1. 地域活動が活発である
2. 図書館、体育館や公園などの公共施設が充実している
3. 継続的に働ける場が確保されている
4. 買い物や娯楽などの場が充実している
5. すみずみまで道路が整っている
6. バスや鉄道が充実し、通勤・通学に便利である
7. 下水道が整備され衛生的な環境が確保されている
8. 子育てをする環境が整っている
9. 学校などの教育環境が良好である
10. 身近に親しめる自然がある
11. 高齢者や障がい者が安心して暮らせる
12. 救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている
13. 冬期間でも安心して生活できる
14. 街並みがきれい
15. 災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる
16. 家賃や物価が安い
17. その他（　　）

【問2－②】《問2で「4. どちらかといえば住みにくい」もしくは「5. とても住みにくい」と回答したかたのみ回答》

どのような点で住みにくいか**3つまで選び**○をつけてください。

1. 地域活動が乏しい
2. 図書館、体育館や公園などの公共施設が十分ではない
3. 継続的に働ける場が少ない
4. 買い物や娯楽などの場が十分ではない
5. すみずみまで道路が整っていない
6. バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である
7. 下水処理が十分に行き届いていない
8. 子育てをする環境がよくない
9. 学校などの教育環境がよくない
10. 身近に親しめる自然が少ない
11. 高齢者や障がい者が安心して暮らせない
12. 救急医療体制や身近なかかりつけ病院が少ない
13. 冬期間に安心して生活できない
14. 街並みが乏しい
15. 災害や交通事故、犯罪が多く安心して生活できない
16. 家賃や物価が高い
17. その他（　　）

【問3】《全員回答》

あなたは、今後も青森市に住みたいと思いますか。（〇は1つ）

1. ずっと住み続けたい
2. できるなら住み続けたい
3. 市内の別の地域に住みたい
4. どちらともいえない
5. できれば市外に転居したい
6. すぐにでも市外に転居したい

【問3－①】《全員回答》

問3で答えた理由としてもっとも近いものを**1つ選び**〇をつけてください。

1. 住み慣れているから
2. 自然環境に恵まれているから
3. 災害が少ないから
4. 土地、持ち家があるから
5. 不便や不満を感じないから
6. 今の仕事があるから
7. 食べ物や水がおいしいから
8. 雪が多いから
9. 家族のいる所にいたいから
10. 老後に不安があるから
11. 仕事がない、賃金が安いから
12. 他地域の方が魅力的だから
13. その他（　　）

【問4】《全員回答》

あなたは、青森市に誇りや愛着を感じますか。（〇は1つ）

1. とても感じる
2. やや感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

【問4－①】《全員回答》

問4で答えた理由として該当するものを**すべて選び**〇をつけてください。

1. 住み慣れているから
2. 自然環境に恵まれているから
3. 災害が少ないから
4. 土地、持ち家があるから
5. 不便や不満を感じないから
6. 今の仕事があるから
7. 食べ物や水がおいしいから
8. ねぶた祭や温泉などの文化・観光資源があるから
9. スポーツが盛んだから
10. 雪が多いから
11. 家族のいる所にいたいから
12. 老後に不安があるから
13. 仕事がない、賃金が安いから
14. 他地域の方が魅力的だから
15. その他（　　）

【問5】《全員回答》

あなたは、知人や家族から「青森市に住みたい」または「戻りたい」と相談されたら、現在の青森市へ呼び込みたいと思いますか。（〇は1つ）

1. 大いにそう思う
2. どちらかといえばそう思う → 問5－①へお進みください
3. どちらともいえない → 問6 へお進みください
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない → 問5－②へお進みください

【問5－①】《問5で「1. 大いにそう思う」もしくは「2. どちらかといえばそう思う」と回答したかたのみ回答》

問5で答えた理由として、もっとも近いものを**1つ選び**〇をつけてください。

1. 自然環境に恵まれているから
2. 災害が少ないから
3. 家族や知人がいるから
4. 食べ物や水がおいしいから
5. 老後に不安がないから
6. 仕事がある、賃金が高いから
7. 不便や不満を感じないから
8. 他地域よりも魅力的だから
9. その他（　　）

【問5－②】《問5で「4. あまりそう思わない」もしくは「5. 全くそう思わない」と回答したかたのみ回答》

問5で答えた理由として、もっとも近いものを**1つ選び**〇をつけてください。

1. 自然環境に恵まれていないから
2. 災害が多いから
3. 雪が多いから
4. 食べ物や水がおいしくないから
5. 老後に不安があるから
6. 仕事がない、賃金が安いから
7. 不便や不満を感じるから
8. 他地域の方が魅力的だから
9. その他（　　）

【問6】《全員回答》

あなたは、青森市の市政情報をどこから得ていますか。該当するものを**すべて選び**〇をつけてください。

1. 広報あおもり
2. 青森市ホームページ
3. メールマガジン
4. インスタグラム
5. フェイスブック
6. X（旧：ツイッター）
7. ユーチューブ
8. ライン
9. テレビ（ニュース番組等）
10. ラジオ（ニュース番組等）
11. 特になし
12. その他（　　）

令和８年度　青森市の主な取組について

市では、「市民力＋民間力　AOMORI　次なる舞台へ」のスローガンのもと、市長公約である「みんなで未来を育てるまち」青森市を創造していくため、「仕事をつくる」「人をまもり・そだてる」「まちをデザインする」の3つの柱に基づき、様々な政策に取り組んでいくこととしております。
青森市民意識調査では、市の政策等に関する項目について、市民の皆様のお考えなどをお伺いし、今後の市の取組等に活かしていきたいと考えています。

【問7】《全員回答》

あなたは、青森市は子育てしやすい街だと思いますか。（〇は1つ）

1. 大いにそう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

【問8】《全員回答》

あなたは現在、習慣的にたばこを吸っていますか。（〇は1つ）

1. 吸っている
2. 以前は吸っていたがやめた
3. 吸っていない

【問9】《全員回答》

あなたは、青森市において、男女の地位は平等になっていると思いますか。（〇は1つ）

1. 男性の方が非常に優遇されていると思う
2. どちらかといえば男性の方が優遇されていると思う
3. 平等だと思う
4. どちらかといえば女性の方が優遇されていると思う
5. 女性の方が非常に優遇されていると思う

【問10】《全員回答》

あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どう思いますか。（〇は1つ）

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対

【問11】《全員回答》

あなたは、この1年間に、道路の草取り・清掃や側溝の泥上げ、また公園の草取り・清掃や花植えなど、公共インフラの維持管理活動に参加したことがありますか。（〇は1つ）

1. 参加したことがある
2. この1年ではないが、参加したことがある
3. 参加したいと思うが、参加したことはない
4. 参加したいと思わない
5. その他（　　）

【問12】《全員回答》

あなたは、地球温暖化について関心がありますか。（〇は1つ）

1. とても関心があり、積極的に取り組んでいる
2. 関心があり、ある程度取り組んでいる
3. 関心はあるが、取り組んでいない
4. .関心はないが、取り組んでいる
5. 関心がなく、取り組んでもいない

【問13】《全員回答》

あなたにとって、路線バス（青森市営バス、市バス、ねぶたん号）は利用しやすいですか。（〇は1つ）

1. 利用しやすい（AOPASSやSuicaなどのICカードが利用できるため）
2. 利用しやすい（バスロケーションシステムで、バスの現在位置を把握できるため）
3. 利用しやすい（日常生活（通勤・通学等）に適した路線数であるため）
4. 利用しやすい（日常生活（通勤・通学等）に適した運行本数があるため）
5. 利用しやすい（定時性がある程度確保されているため）
6. 利用しやすい（市役所庁舎等に設置されているデジタルサイネージでバス時刻などを確認できるため）
7. 利用しやすい（バス車両がバリアフリーに対応しているため）
8. 利用しやすい（スマートフォンなどから、「あおもり　マイ時刻表」で時刻表を調べられるため）
9. 利用しやすい（その他）（　　）
10. どちらともいえない
11. どちらかといえば利用しにくい
12. とても利用しにくい

【問14】≪任意回答≫

その他、市政について、ご意見・ご提案がありましたら、自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

青 森 市 民 憲 章

わたくしたちは、青い空、青い海、青い森にいだかれ、悠久の歴史と香り高い文化と伝統に満ちた青森市の市民です。
わたくしたちは、郷土あおもりを心から愛し、夢と希望にあふれたしあわせなまちとするためこの憲章を定めます。

1　自然をたいせつにし
　　美しいまちにしましょう

1　元気に働き
　　活気のある豊かなまちにしましょう

1　たがいに助け合い
　　あたたかいまちにしましょう

1　笑顔でふれあい
　　明るく平和なまちにしましょう

1　楽しく学び
　　いきがいを感じるまちにしましょう

平成 17 年 4 月 27 日制定



市の木
【あおもりとどまつ】



市の花
【はまなすの花】



市の鳥
【ふくろう】



市の昆虫
【ホタル】